

貸金業利用者に関する調査・研究

<調査結果報告書>

2025年3月31日

株式会社MSS



	P-
◆ I. 調査概要	2
◆ II. 貸金業利用者の状況	7
◆ III. 複数借入経験者の状況	14
◆ IV. 無登録業者(ヤミ金融)の利用状況	19
◆ V. 事業資金の借入状況	23
◆ VI. キャッシュレス決済のための借入状況	27
◆ VII. ギャンブル等を目的とした借入状況	30
◆ VIII. セーフティネットの状況	33
◆ IX. 貸付自粛制度の状況	38

I .調査概要

1. 調査設計
2. 対象者グループの定義補足
3. 本調査有効回収数
4. ウェイトバックについて

調査手法	インターネット調査
抽出母集団	GMOリサーチ(株式会社MSS提携) ネットモニター
調査地域	全国
調査対象	・18～70代の男女 ・本人または家族が以下の職業に従事している場合は対象外 出版・印刷関連、マスコミ関連(新聞・放送業等)、広告・市場調査、金融・保険・証券
調査期間	☐ スクリーニング調査 2024年12月13日(金)～12月20日(金) ※数回の追加配信を実施 ☐ 本調査 2024年12月27日(金)～2025年1月6日(月)
調査設計	☐ スクリーニング調査: 回収目標サンプル数 最大100,000サンプル そのうち、50,000サンプルについては、性別／年代／エリアで母集団準拠し、 その出現率を本調査のウェイトバック集計の係数とした。 ※母集団準拠については令和2年度の国勢調査結果を基とした ☐ 本調査: 回収目標サンプル数:5,000サンプル程度 <グループA> 3年以内借入経験者 2,700サンプル <グループB> 3年以内借入経験者以外 2,300サンプル <グループC> 事業資金調達経験者及び検討者 300サンプル ※上記Bに含まれる
有効回収 サンプル数	☐ スクリーニング調査 100,000サンプル ※そのうち49,637サンプルは、性別／年代／エリアの母集団に準拠して回収 ☐ 本調査 <グループA> 3年以内借入経験者 2,700サンプル <グループB> 3年以内借入経験者以外 2,300サンプル <グループC> 事業資金調達経験者及び検討者 497サンプル ※上記Bに含まれる

- ・『3年以内借入経験者』

最近3年以内に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ(個人向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」、「商工ローンからの借入れ(事業者向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験がある方

- ・『3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり』

3年以内借入経験者のうち、現在いずれかの借入残高が残っている方

- ・『3年以内借入経験者、かつ現在消費者金融に借入残高あり』

3年以内借入経験者のうち、現在「消費者金融からの借入れ」の借入残高が残っている方

- ・『3年以前借入経験あり』

3年以前に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ(個人向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」、「商工ローンからの借入れ(事業者向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験がある方

- ・『借入経験なし』

過去、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ(個人向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」、「商工ローンからの借入れ(事業者向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む)」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれについても利用経験がない方

3. 本調査有効回収数

■ 本調査の最終有効回収数は以下の通り。

	小計	3年以内 借入経験者	3年以内借入経験者以外		
				うち、3年以前 借入経験あり	うち、 借入経験なし
全体	5,000	2700	2300	324	1976
会社員	1,822	1226	596	69	527
経営者・役員	233	83	150	47	103
個人事業主	478	199	279	68	211
公務員(教職員を含む)	202	124	78	7	71
専門職(個人事業主は除く)	78	48	30	0	30
団体職員(私立学校・病院等を含む)	37	23	14	1	13
派遣・契約社員	310	178	132	26	106
パート・アルバイト・フリーター	625	360	265	20	245
専業主婦/主夫	288	80	208	13	195
無職	806	306	500	73	427
学生	82	49	33	0	33
その他	39	24	15	0	15

4. ウェイトバックについて

- スクリーニング調査結果より、「3年以内借入経験者」が全体に占める割合は6.29%。この値が国内全体における「3年以内借入経験者」の比率と推計される。(表1)
- ただし、今回の本調査では「3年以内借入経験者」を2,700サンプル、「3年以内借入経験者以外」を2,300サンプルとして設計したため、「3年以内借入経験者」が本調査回収サンプル総数の54.0%を占め、実際の構成よりも大きな比率を占めている。
- よって、セーフティネットの認知など、「3年以内借入経験者」と「3年以内借入経験者以外」を足した数値をみる際には、3年以内借入経験者の比率を市場構成比にあわせるための補正処理(ウェイトバック)を行っている。(表2)

※本報告書においては、ウェイトバックを行った数値を記載している箇所には「ウェイトバックあり」と注記を付している。

※一部のサンプルをベースとした集計の場合は、ウェイトバックなしの数値を記している。

【表1】
スクリーニング／本調査回収結果における、「3年以内借入経験者」の割合

スクリーニング調査回収結果(人口構成比準拠スクリーニングのみ)

	全体	3年以内借入 経験者	3年以内借入 経験者以外
サンプル数	49,637	3,122	46,515
構成比	100	6.29	93.71

本調査回収結果

	全体	3年以内借入 経験者	3年以内借入 経験者以外
サンプル数	5,000	2,700	2,300
構成比	100	54.0	46.0

【表2】
ウェイトバック値の算出方法

	①	②	③	ウェイトバック値
	回収サンプル数	スクリーニング回収 結果より母集団 準拠した際の比率	回収サンプル数を スクリーニング回収 結果比率にあわせる (①全体×②)	(③÷①)
全体	5,000	1	5,000	-
3年以内借入経験者	2,700	0.0629	314.5	0.1165
借入経験なし	2,300	0.9371	4685.5	2.0372

Ⅱ. 貸金業利用者の状況

- 希望通りの借入れ可否(年収別/職業別)
- 希望通りの借入れができなかった時の対応
- 消費者金融利用者の借入目的
- クレジットカード会社利用者の借入目的
- 借入残高が年収の1/3を超える者の割合
- 借入残高が年収の1/3を超える者の職業・借入目的

希望通りの借入れ可否(年収別/職業別)

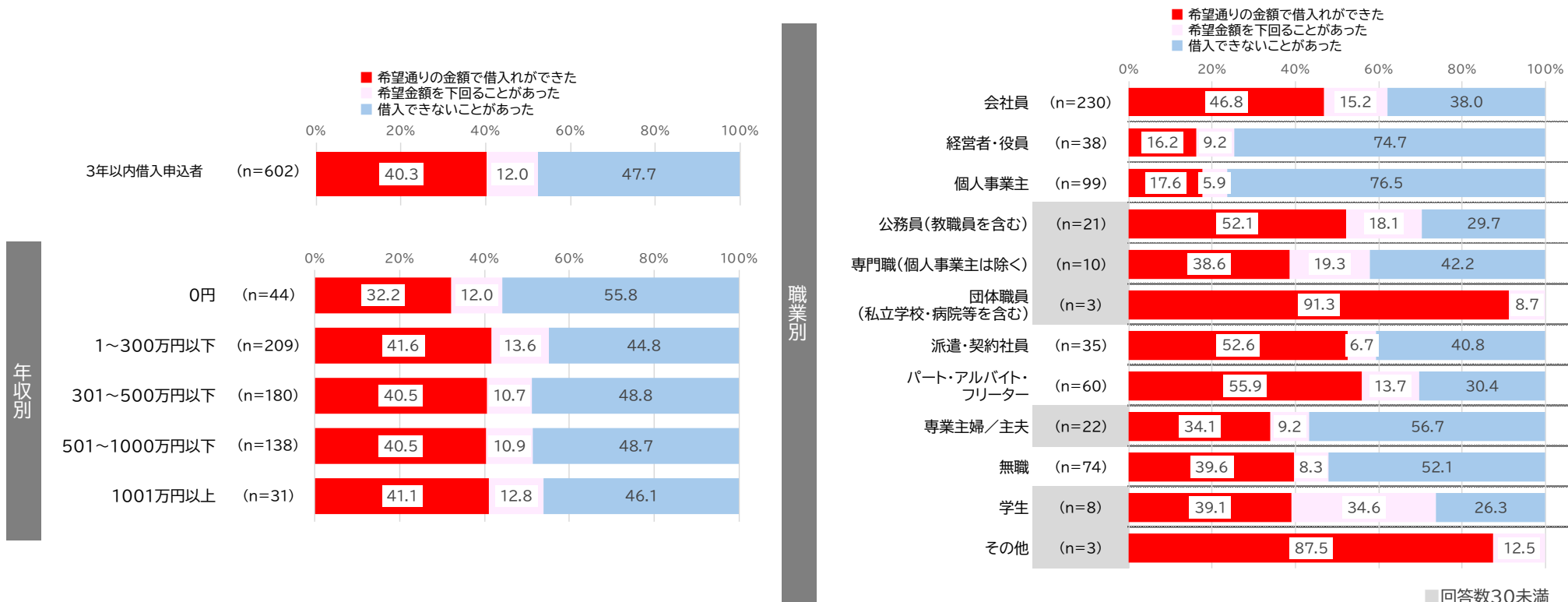
- 3年以内借入申込者のうち、「希望通りの金額で借入れができた」人は40.3%で、「希望金額を下回ることがあった」人が12.0%、「借入できないことがあった」人は47.7%となっている。
- 職業別では、「個人事業主」「経営者・役員」において、「借入できないことがあった」人の回答割合が高くなっている。

Q9.あなたが、最近3年以内に以下1～4の貸金業者で借入れの申込みをしたが、借入れができなかったものがありますか。(いくつでも)

Q10.あなたが、最近3年以内に以下の貸金業者から借り入れた際、常に希望通りの金額を借り入れることができたか、それぞれ1～2からお答えください。(それぞれひとつずつ)

※ウエイトバックあり。ウエイトバック集計による重みづけ後のサンプル数を表記。

最近3年以内において希望通りの借入れができたかどうか (ベース:3年以内借入申込者)



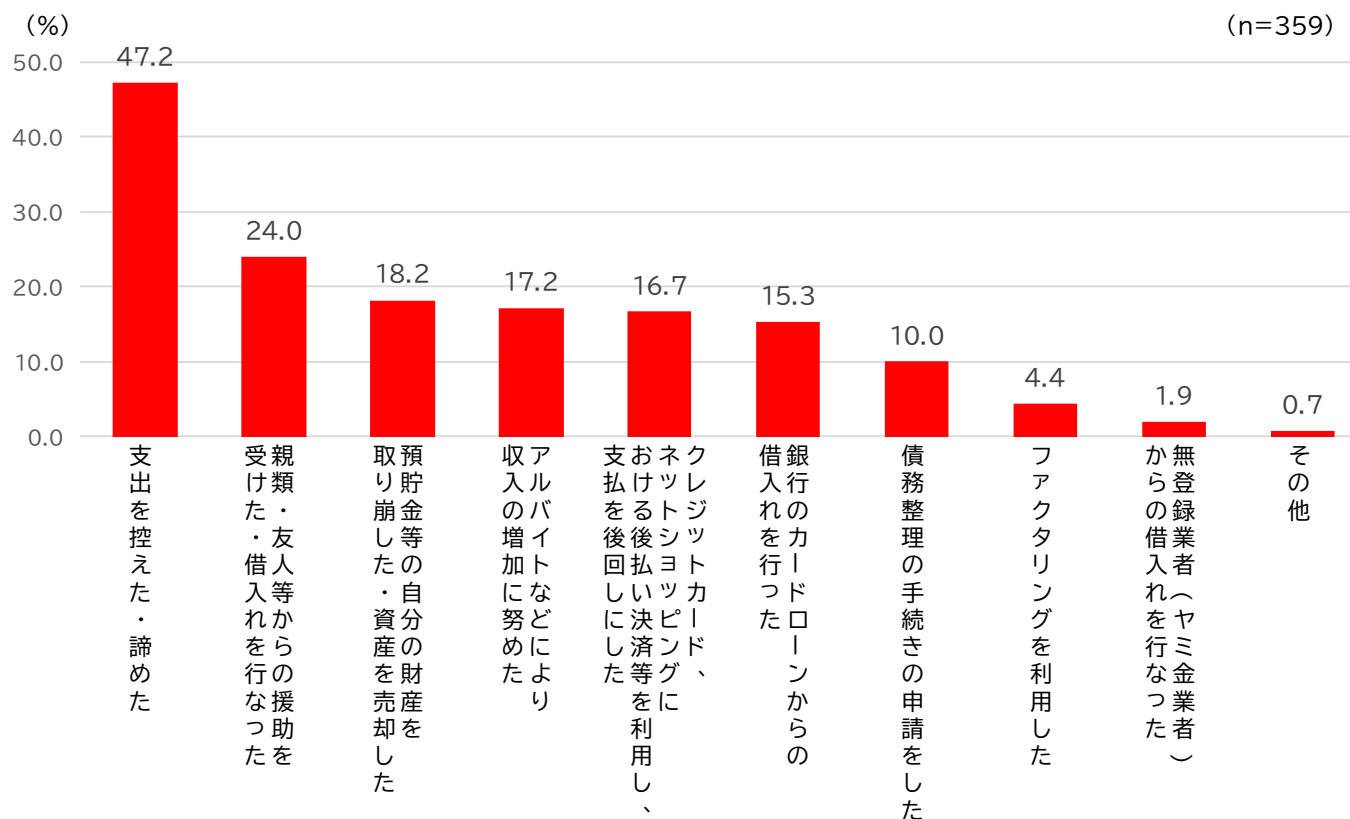
希望通りの借入れができなかったときの対応

- 希望通りの借入れができなかったときの主な対応の上位3項目は、「支出を控えた・諦めた」が47.2%、「親類・友人等からの援助を受けた・借入れを行なった」が24.0%、「預貯金等の自分の財産を取り崩した・資産を売却した」が18.2%、となっている。

Q11.あなたが、最近3年以内に申込みをした際、希望通りの金額で借入れができなかった場合、あなたはどのようにされたか、お答えください。(いくつでも)

※ウエイトバックあり。ウエイトバック集計による重みづけ後のサンプル数を表記。

最近3年以内の借入不可・希望金額借入不可時の対応
(ベース: 3年以内借入申込者で希望通りの借入れができなかった人)

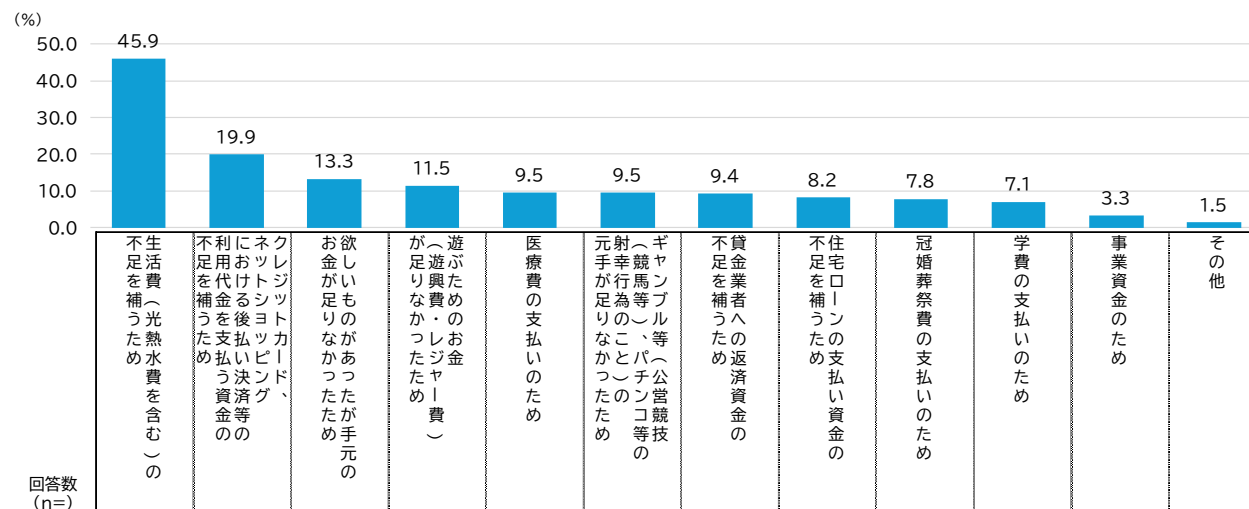


※降順で並び替え

消費者金融利用者の借入目的

- 3年以内借入経験者のうち、消費者金融利用者の借入目的の上位は、「生活費の不足を補うため」が45.9%、「クレジットカード、ネットショッピングにおける後払い決済等の利用代金を支払う資金の不足を補うため」が19.9%、「欲しいものがあつたが手元のお金が足りなかったため」が13.3%となっている。
- 職業別では「個人事業主」、「派遣・契約社員」で、「生活費の不足を補うため」の回答割合が高くなっている。

Q1.【消費者金融】あなたが最近3年以内に借入れ・資金調達等を行った以下のサービスについて、契約目的として当てはまるものを、それぞれ1～12からお答えください。(それぞれいくつでも)



利用者全体		970	45.9	19.9	13.3	11.5	9.5	9.5	9.4	8.2	7.8	7.1	3.3	1.5
年 収 別	0円	49	38.8	10.2	8.2	6.1	10.2	14.3	10.2	2.0	8.2	6.1	2.0	2.0
	1～300万円以下	368	48.4	18.2	9.5	9.0	10.9	7.1	7.3	8.2	6.3	6.3	2.4	2.4
	301～500万円以下	286	51.4	22.4	17.8	12.6	7.7	11.2	8.7	5.6	8.7	7.3	3.1	0.3
	501～1000万円以下	218	40.4	20.2	16.1	16.5	10.1	11.0	13.8	13.3	8.7	7.3	3.2	1.4
	1001万円以上	49	26.5	26.5	8.2	8.2	6.1	6.1	8.2	8.2	10.2	12.2	12.2	2.0
職 業 別	会社員	489	39.9	19.0	13.9	13.3	8.6	10.0	10.4	10.4	9.8	7.8	1.8	1.0
	経営者・役員	30	40.0	33.3	10.0	16.7	10.0	3.3	10.0	3.3	6.7	0.0	16.7	0.0
	個人事業主	65	67.7	23.1	21.5	12.3	3.1	12.3	9.2	4.6	7.7	3.1	13.8	0.0
	公務員(教職員を含む)	54	37.0	25.9	11.1	9.3	16.7	14.8	14.8	9.3	13.0	11.1	3.7	1.9
	専門職(個人事業主は除く)	16	37.5	25.0	18.8	12.5	18.8	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	0.0
	団体職員(私立学校・病院等を含む)	7	42.9	42.9	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
	派遣・契約社員	73	63.0	20.5	13.7	13.7	12.3	13.7	12.3	4.1	4.1	2.7	2.7	1.4
	パート・アルバイト・フリーター	126	54.0	19.0	8.7	6.3	9.5	7.1	3.2	6.3	4.0	7.1	1.6	4.0
	専業主婦/主夫	21	52.4	0.0	19.0	28.6	14.3	4.8	4.8	9.5	4.8	9.5	0.0	0.0
	無職	58	55.2	15.5	8.6	1.7	5.2	6.9	6.9	3.4	1.7	1.7	3.4	5.2
	学生	26	19.2	23.1	19.2	3.8	15.4	3.8	11.5	11.5	11.5	19.2	0.0	0.0
	その他	5	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0

<全体との差>

+10pt以上
 +5pt以上
 -5pt以上
 -10pt以上
 回答数30未満

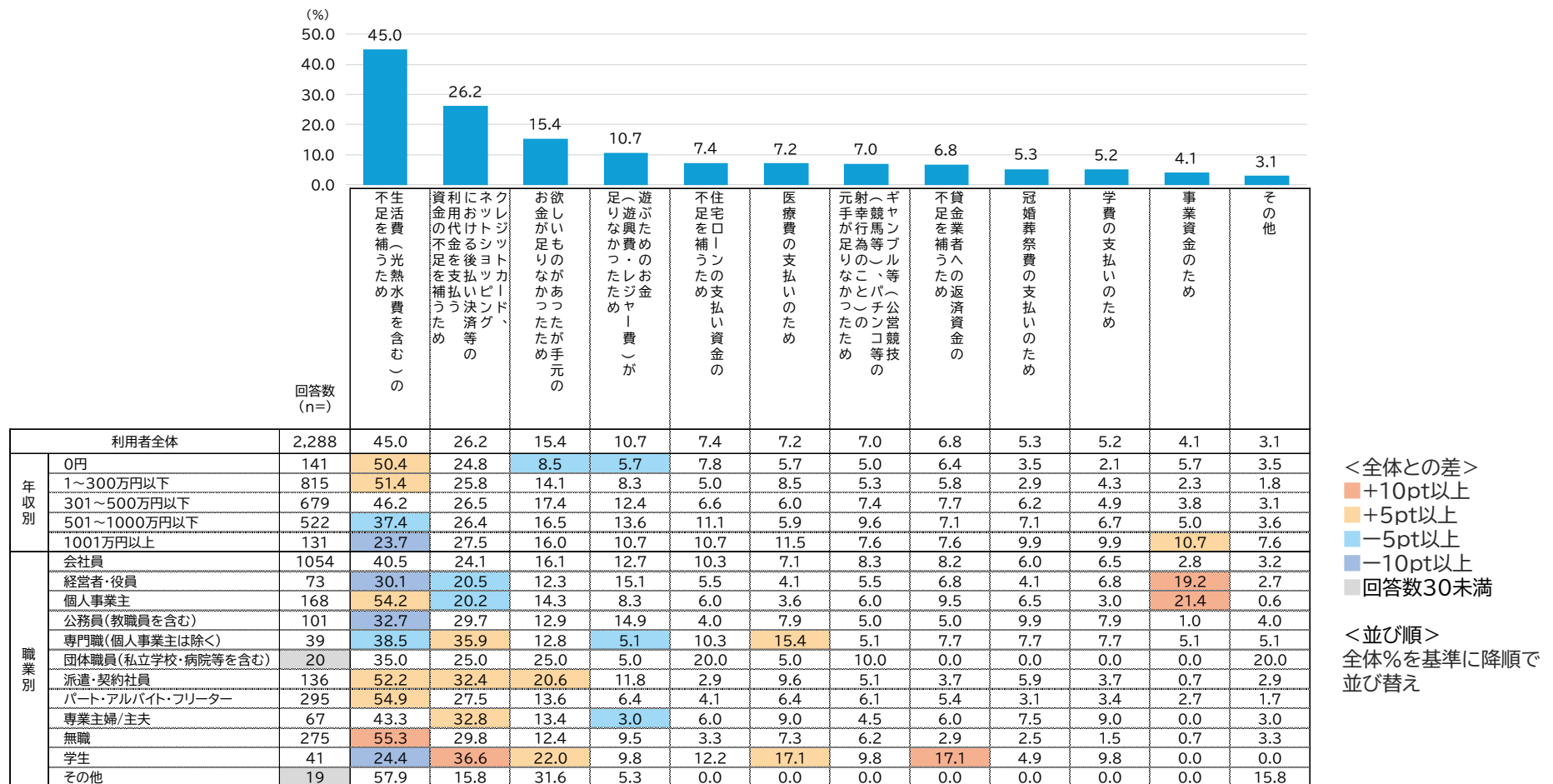
<並び順>

全体%を基準に降順で並び替え

クレジットカード会社利用者の借入目的

- 3年以内借入経験者のうち、クレジットカード会社のキャッシング・カードローン利用者の借入目的の上位は、「生活費の不足を補うため」が45.0%、「クレジットカード、ネットショッピングにおける後払い決済等の利用代金を支払う資金の不足を補うため」が26.2%、「欲しいものがあつたが手元のお金が足りなかったため」が15.4%となっている。
- 「生活費の不足を補うため」は、年収が低くなるほど回答割合が高くなる傾向が見られる。職業別では、「無職」、「パート・アルバイト・フリーター」、「個人事業主」、「派遣・契約社員」における回答割合が高い。

Q1. 【クレジットカード会社のキャッシング・カードローン】あなたが最近3年以内に借入れ・資金調達等を行った以下のサービスについて、契約目的として当てはまるものを、それぞれ1～12からお答えください。(それぞれいくつでも)



<全体との差>

+10pt以上
 +5pt以上
 -5pt以上
 -10pt以上
 回答数30未満

<並び順>

全体%を基準に降順で
 並び替え

借入残高が年収の1/3を超える者の割合

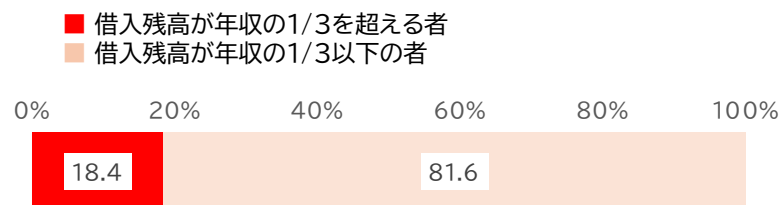
- 3年以内借入経験者かつ現在借入残高がある者で、借入残高が年収の1/3を超える者の割合は18.4%となっている。
- 年収別でみると、年収が低いほど借入残高が年収の1/3を超える者の割合が高い傾向が見られる。
- 職業別に見ると、「学生」、「個人事業主」、「パート・アルバイト・フリーター」で割合が高くなっている。(回答数30以上)
- また、消費者金融に借入残高がある者に絞ると、借入残高が年収の1/3を超える者の割合は29.6%となっている。

Q4.あなたがご利用の以下の借入れ・資金調達等のサービスについて、現在の借入残高(利用残高)をそれぞれお答えください。

Q17.あなたご自身の昨年1年間の年収(税引き前)について、お答えください。

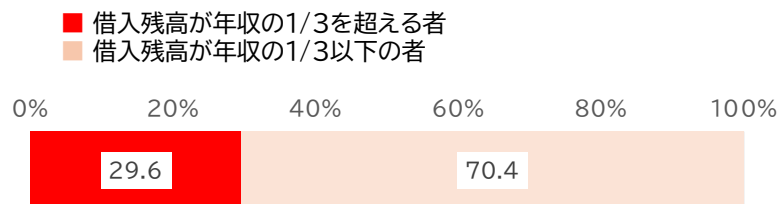
借入残高が年収の1/3を超える者の割合
(ベース:3年以内借入経験者かつ現在借入残高あり)

(n=2,065)



借入残高が年収の1/3を超える者の割合
(ベース:3年以内借入経験者かつ現在消費者金融に借入残高あり)

(n=749)



借入残高が年収の1/3を超える者の割合 年収・職業別
(ベース:3年以内借入経験者かつ現在借入残高あり)

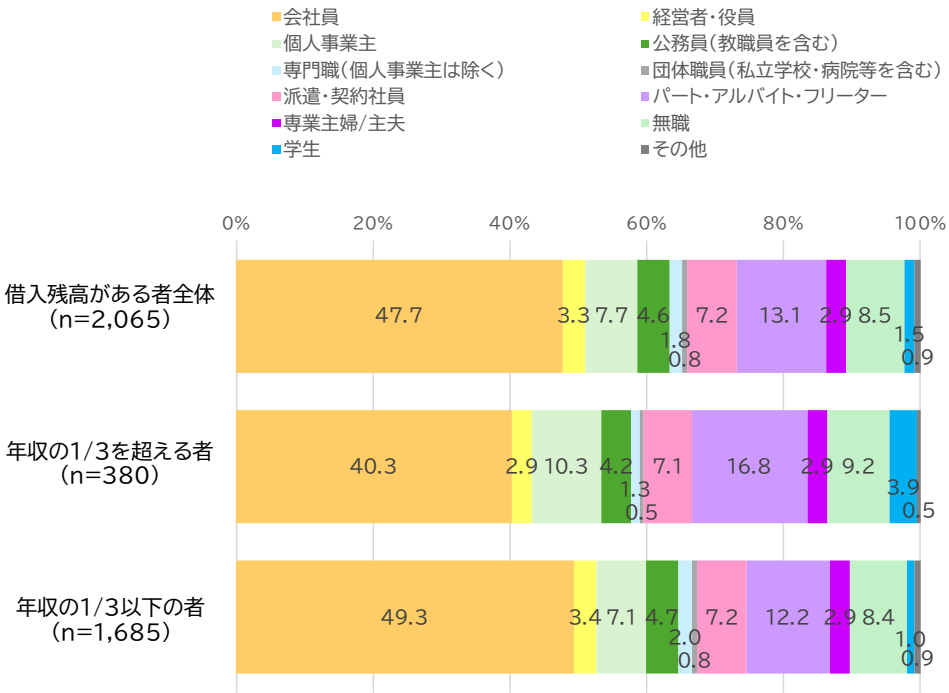
		回答数 (n=)	借入残高が年収の1/3 を超える者(%)
年収別	全体	2,065	18.4
	0円	0	0.0
	1～300万円以下	826	30.4
	301～500万円以下	648	11.3
	501～1000万円以下	484	11.0
	1001万円以上	107	2.8
職業別	会社員	984	15.5
	経営者・役員	68	16.2
	個人事業主	159	24.5
	公務員(教職員を含む)	96	16.7
	専門職(個人事業主は除く)	38	13.2
	団体職員(私立学校・病院等を含む)	16	12.5
	派遣・契約社員	148	18.2
	パート・アルバイト・フリーター	270	23.7
	専業主婦／主夫	60	18.3
	無職	176	19.9
	学生	32	46.9
	その他	18	11.1

借入残高が年収の1/3を超える者の職業・借入目的

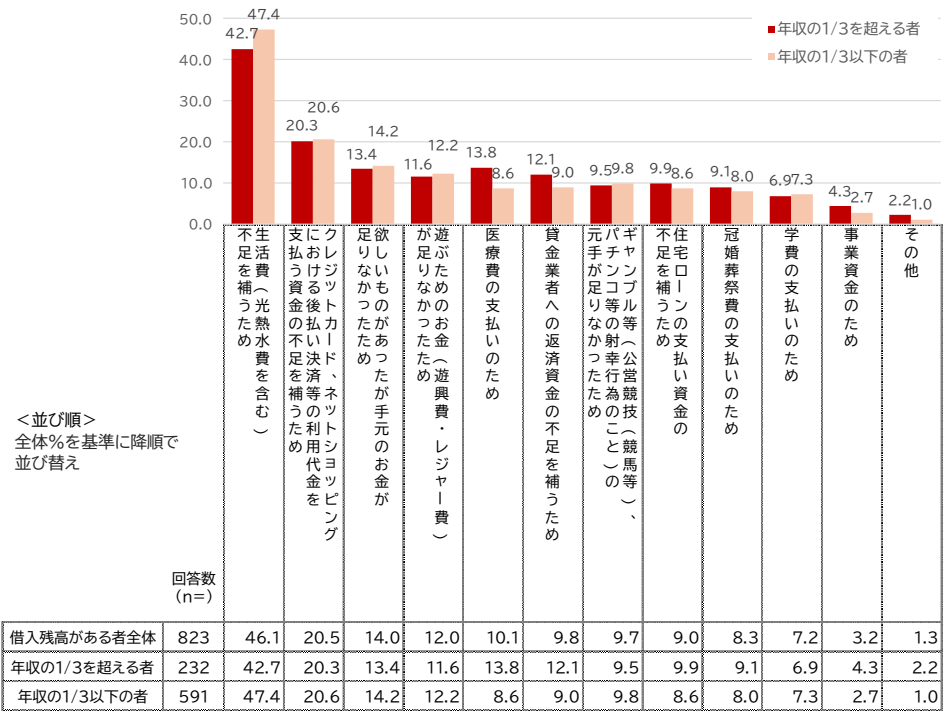
- 借入残高が年収の1/3を超える者(3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり)の職業は全体に比べ「個人事業主」「パート・アルバイト・フリーター」の割合が高い。
- 借入残高が年収の1/3を超える者(3年以内借入経験者、かつ現在消費者金融に借入残高あり)の消費者金融借入目的は、「生活費不足を補うため」の割合が、最も高くなっている。

Q4.あなたがご利用の以下の借入れ・資金調達等のサービスについて、現在の借入残高(利用残高)をそれぞれお答えください。
Q17.あなたご自身の昨年1年間の年収(税引き前)について、お答えください。
Q1.【消費者金融】あなたが最近3年以内に借入れ・資金調達等を行った以下のサービスについて、契約目的として当てはまるものを、それぞれ1～12からお答えください。(それぞれいくつでも)

借入残高が年収の1/3を超える者の職業
(ベース:3年以内借入経験者かつ現在借入残高あり)



借入残高が年収の1/3を超える者の消費者金融借入目的
(ベース:3年以内借入経験者、かつ現在消費者金融に借入残高あり)



Ⅲ. 複数借入経験者の状況

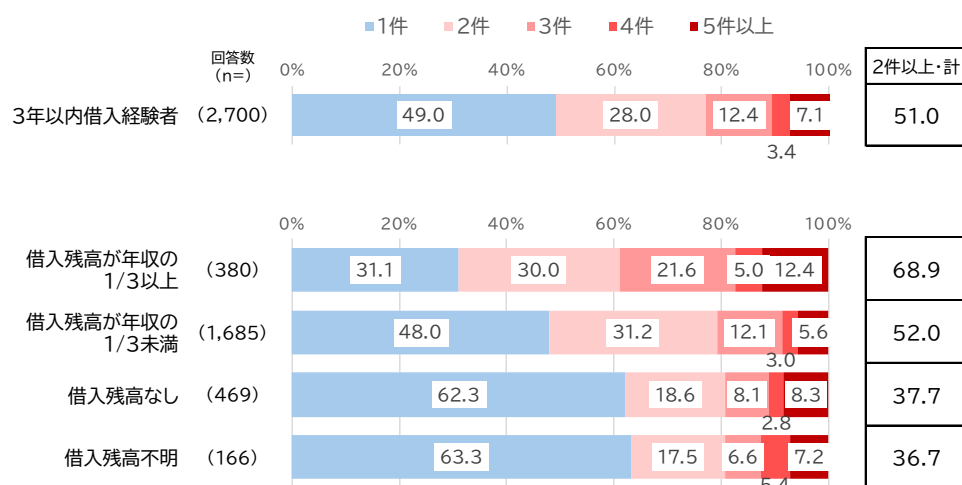
- 複数借入経験者の割合
- 複数の借入れをした理由
- 債務の返済期間
- 返済の状況

複数借入経験者の割合

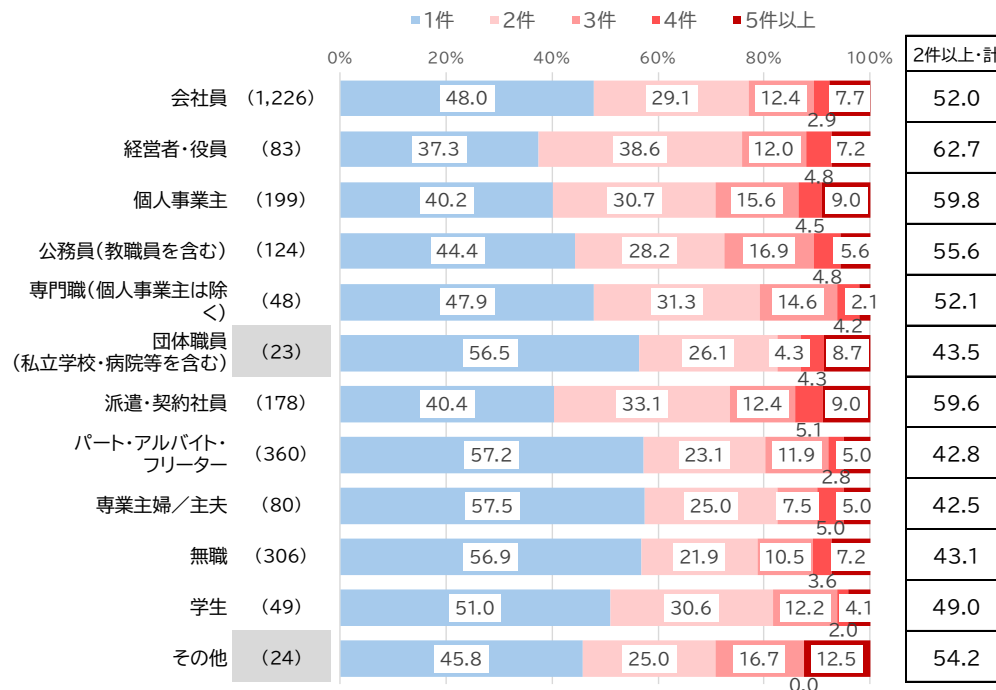
- 3年以内借入経験者のうち、同時に2件以上の借入経験がある人の回答割合は51.0%であった。
- 借入残高が年収の1/3を超える者は、「2件以上・計」の回答割合が7割と高い。
- 職業別に見ると、「経営者・役員」「個人事業主」「派遣・契約社員」で、「2件以上・計」の回答割合が高くなっている。(回答数30人以上)

YQ8.借入れ・資金調達等のサービスについて、同時期に利用した件数をお答えください。(ひとつだけ)

同時に複数の借入経験のある者の割合・借入残高別
(ベース:3年以内借入経験者)



同時に複数の借入経験のある者の割合・職業別
(ベース:3年以内借入経験者)

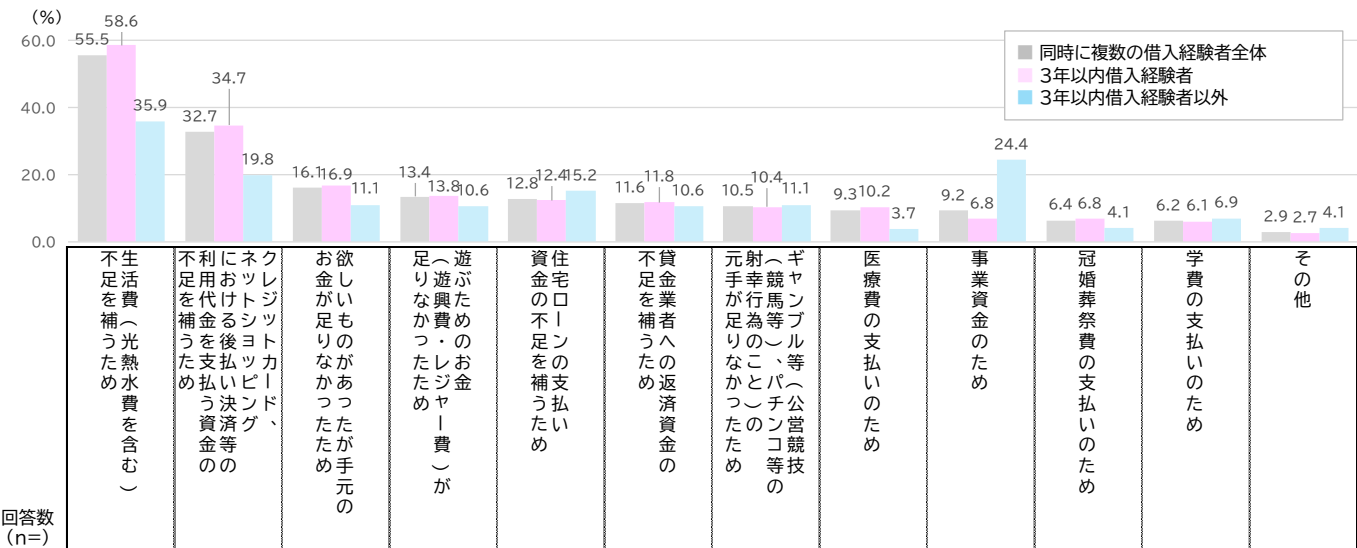


複数の借入れをした理由

- 同時に複数の借入れをした理由は、全体では「生活費(水道光熱費を含む)不足を補うため」が55.5%で最も高い。
- 借入残高別に見ても、回答傾向に大きな差は見られない。

Q6.先日のアンケートで、同時に複数の借入れ経験が「ある」と回答した方にお伺いします。あなたが複数の借入れ・利用をした理由をお答えください。(いくつでも)

同時に複数の借入れをした理由(ベース:同時に複数の借入経験者)



同時に複数の借入経験者全体		1,593	55.5	32.7	16.1	13.4	12.8	11.6	10.5	9.3	9.2	6.4	6.2	2.9
3年以内借入経験者	借入経験者全体	1,376	58.6	34.7	16.9	13.8	12.4	11.8	10.4	10.2	6.8	6.8	6.1	2.7
	借入残高が年収の1/3を超える者	262	58.4	34.7	14.5	13.0	16.0	15.3	11.8	15.6	10.7	6.5	7.6	1.5
	借入残高が年収の1/3以下の者	876	59.8	36.5	18.7	16.7	12.3	10.5	10.7	9.6	5.0	7.8	6.5	2.6
	借入残高なし	177	52.5	29.4	15.3	5.6	7.9	10.2	6.2	6.2	8.5	4.0	3.4	5.6
	不明	61	59.0	24.6	4.9	0.0	11.5	19.7	11.5	6.6	11.5	1.6	1.6	0.0
3年以内借入経験者以外		217	35.9	19.8	11.1	10.6	15.2	10.6	11.1	3.7	24.4	4.1	6.9	4.1

<全体との差>
+10pt以上
+5pt以上
-5pt以上
-10pt以上

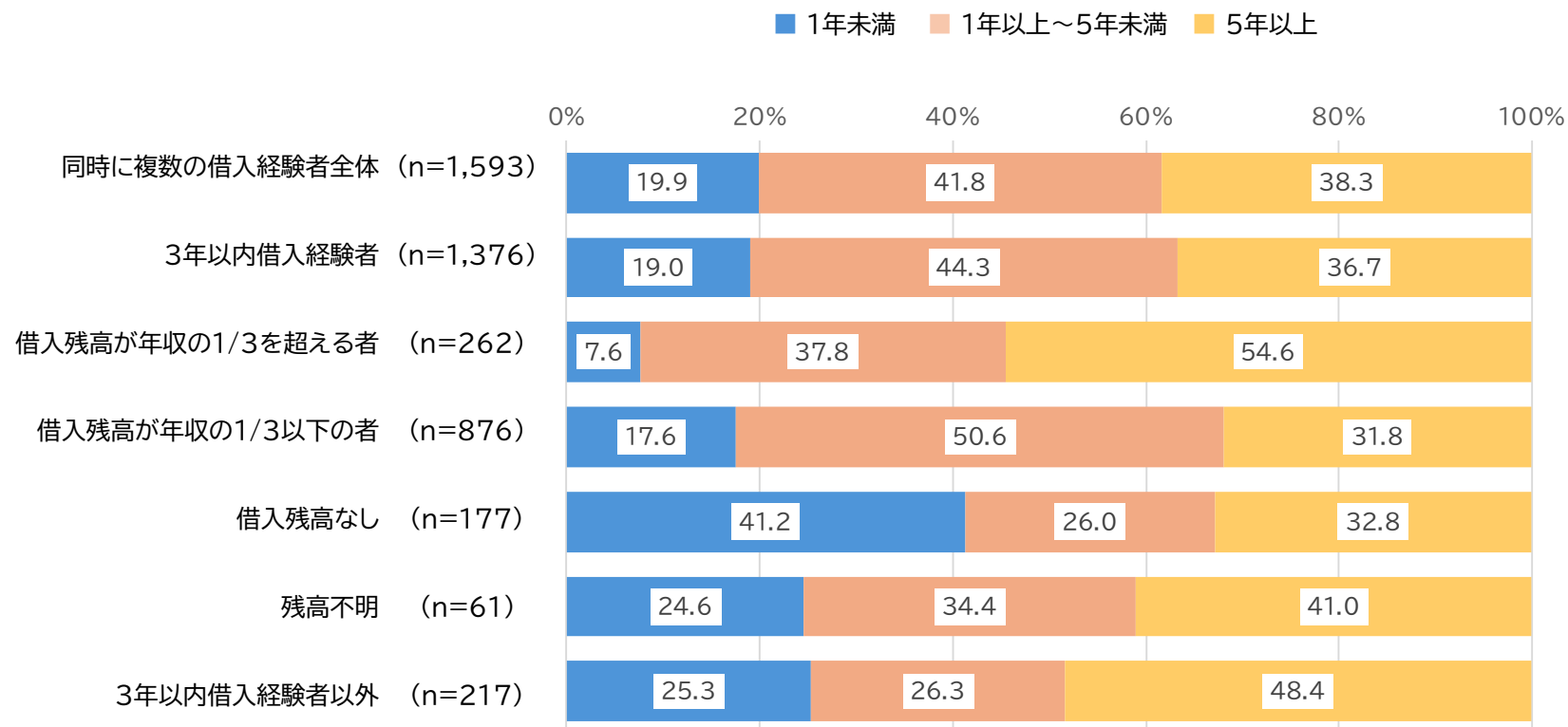
<並び順>
全体%を基準に降順で並び替え

債務の返済期間

- 債務の返済期間は、同時に複数の借入経験のある者全体では、「1年以上～5年未満」が最も高く41.8%。
- 借入残高が年収の1/3を超える者については、「5年以上」が54.6%と最も高い。

Q7.あなたの債務の返済期間(見込み含む)をお答えください。(ひとつだけ)

債務の返済期間・借入残高別
(ベース:同時に複数の借入経験者)



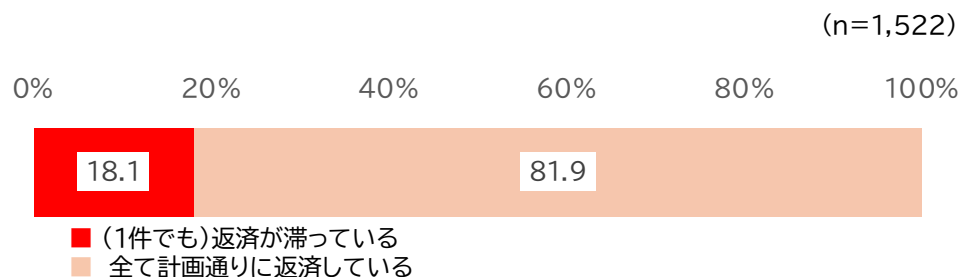
返済の状況

- 「(1件でも)返済が滞っている」の回答割合は、同時に複数の借入れのある者で18.1%、同時に複数の借入れのない者で9.1%となっている。
- 返済が滞っている者に対しその理由を質問したところ、同時に複数の借入れのある者・ない者いずれも、「収入が借入時点から減少したから」「借入後に想定していたよりも支出が増えてしまったから」が上位。

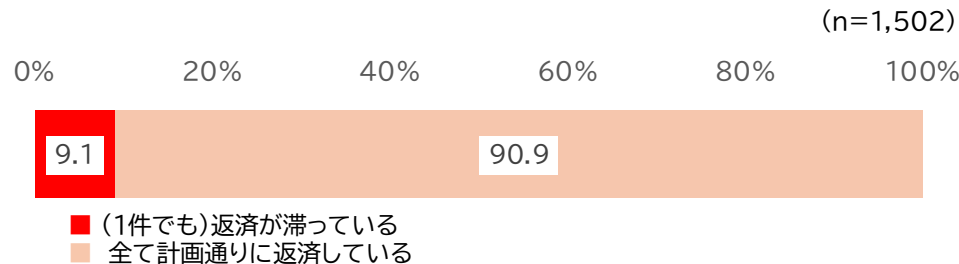
Q5. あなたの返済状況をお答えください。(ひとつだけ)

Q8. Q5で、「(1件でも)返済が滞っている」と回答した方にお伺いします。あなたが返済困難となった理由をお答えください。(いくつでも)

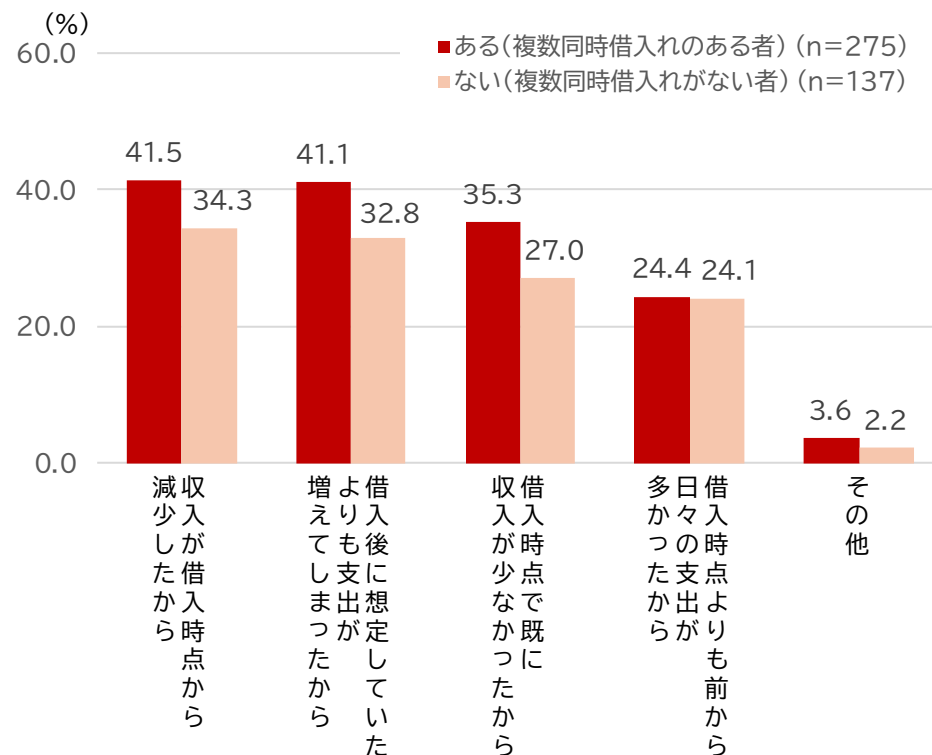
返済が滞っている者の割合
(ベース:同時に複数の借入経験者)
※「住宅ローン」「ファクタリング」の借入経験者は除く



返済が滞っている者の割合
(ベース:同時に複数の借入経験者以外)
※「住宅ローン」「ファクタリング」の借入経験者は除く



返済が困難となった理由
(ベース:返済が滞っている者)



※降順で並び替え

IV.無登録業者(ヤミ金融)の利用状況

- 利用経験
- 利用理由と接触契機
- 借入元本と返済総額

※無登録業者(ヤミ金融):いわゆる偽装質屋(質屋を装い、価値のない物品を質に取って金銭を貸し付け、高額な金利の支払いを求める業者)を含む。

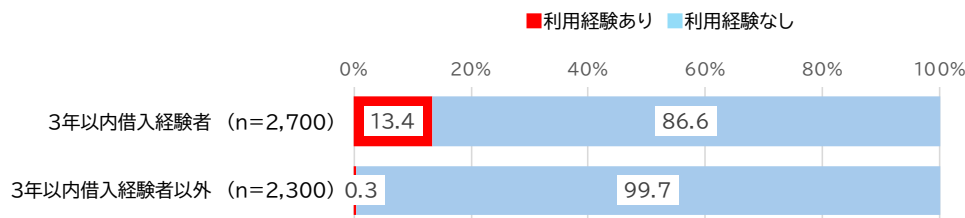
利用経験※

- 無登録業者(ヤミ金融)の利用経験は、3年以内借入経験者で13.4%、3年以内借入経験者以外では0.3%となっている。
- 借入残高別に見ると、借入残高が年収の1/3を超える者で26.8%、年収の1/3以下の者が11.9%となっている。
- 職業別に見ると、「学生」、「専門職」、「経営者・役員」での回答割合が高くなっている。(回答数30以上)

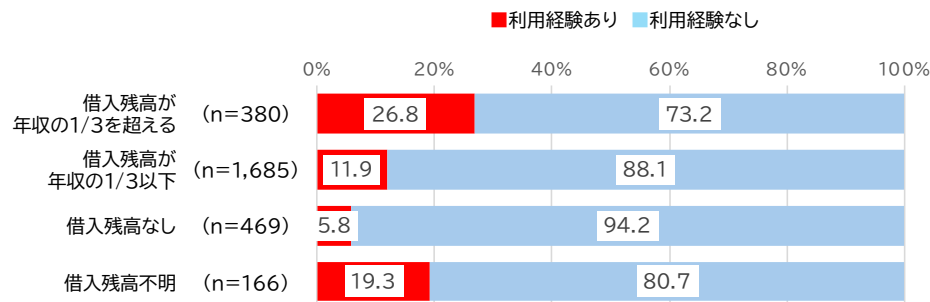
YQ7-15. [無登録業者(ヤミ金融)からの借入れ]あなたは、以下の借入れ・資金調達等のサービスについて、借入れを行なった(利用した)経験がありますか。(それぞれひとつずつ)

※無登録業者(ヤミ金融)の利用経験の範囲は本来は【3年以内利用経験者以外】も含むが、同グループ内では無登録業者(ヤミ金融)の利用経験者が7名に留まるため、年収、職業別ではウェイトバックは行わず、ベースは【3年以内借入経験者】に絞っている。

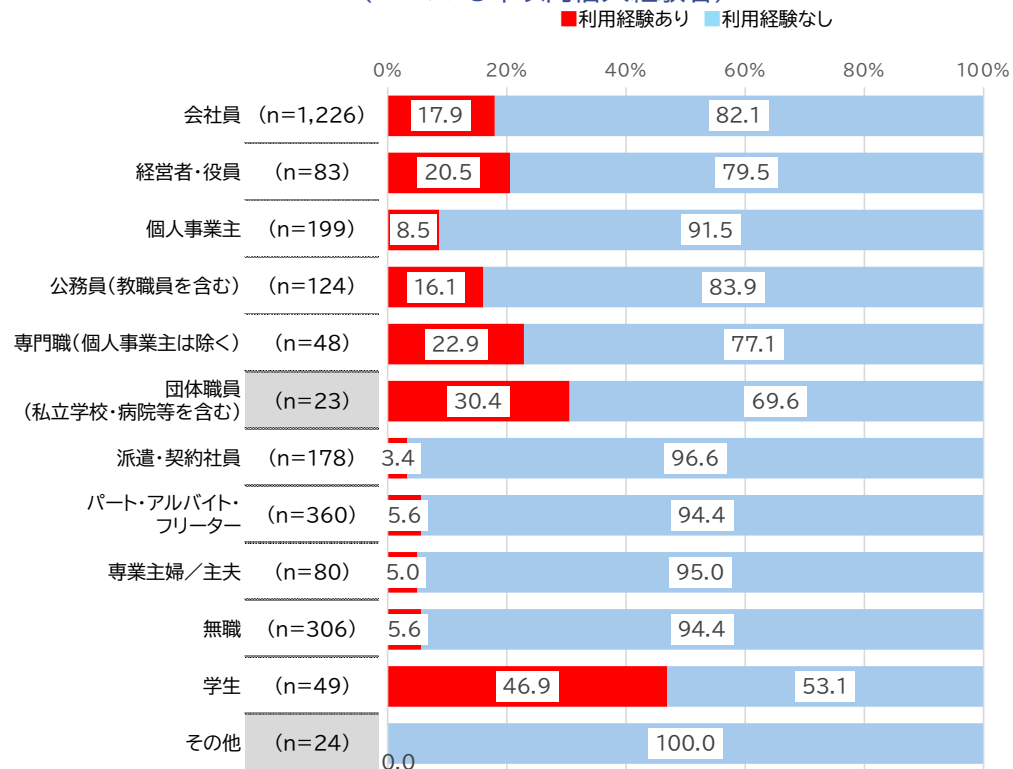
無登録業者(ヤミ金融)の利用経験・借入経験別
(ベース:全数)



無登録業者(ヤミ金融)の利用経験・借入残高別
(ベース:3年以内借入経験者)



無登録業者(ヤミ金融)の利用経験・職業別
(ベース:3年以内借入経験者)

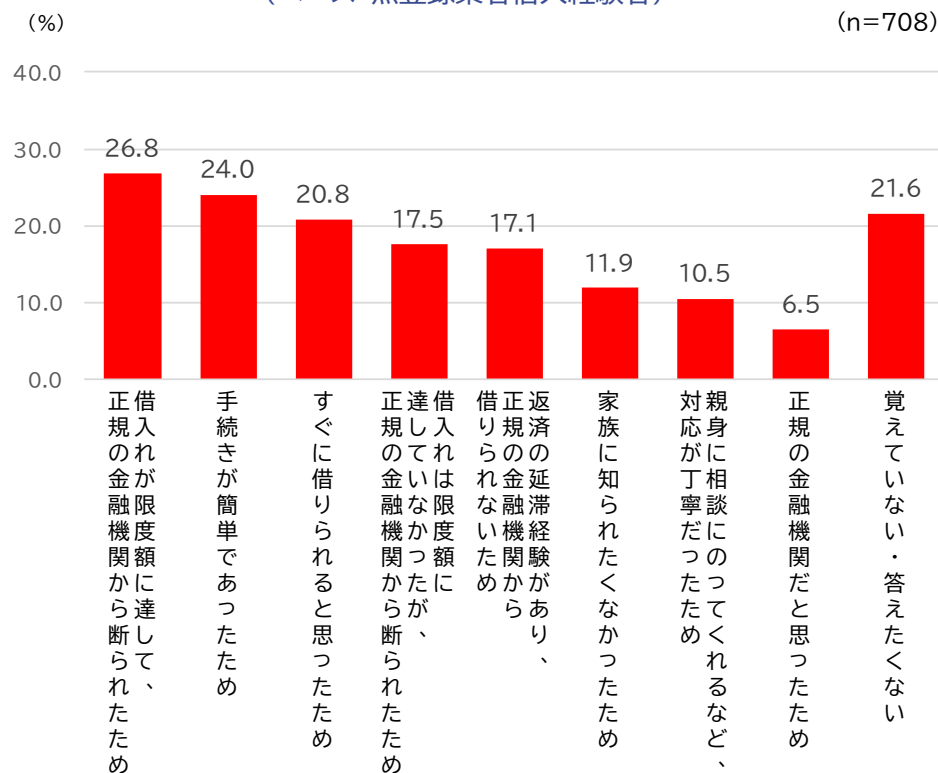


利用理由と接触契機

- 無登録業者(ヤミ金融)の利用理由は、「借入れが限度額に達して、正規の金融機関から断られたため」が26.8%、「手続きが簡単であったため」が24.0%と、上位に挙がる。
- 無登録業者(ヤミ金融)との接触のきっかけは、「インターネットの広告を見て問い合わせた」が33.5%で最も高い。

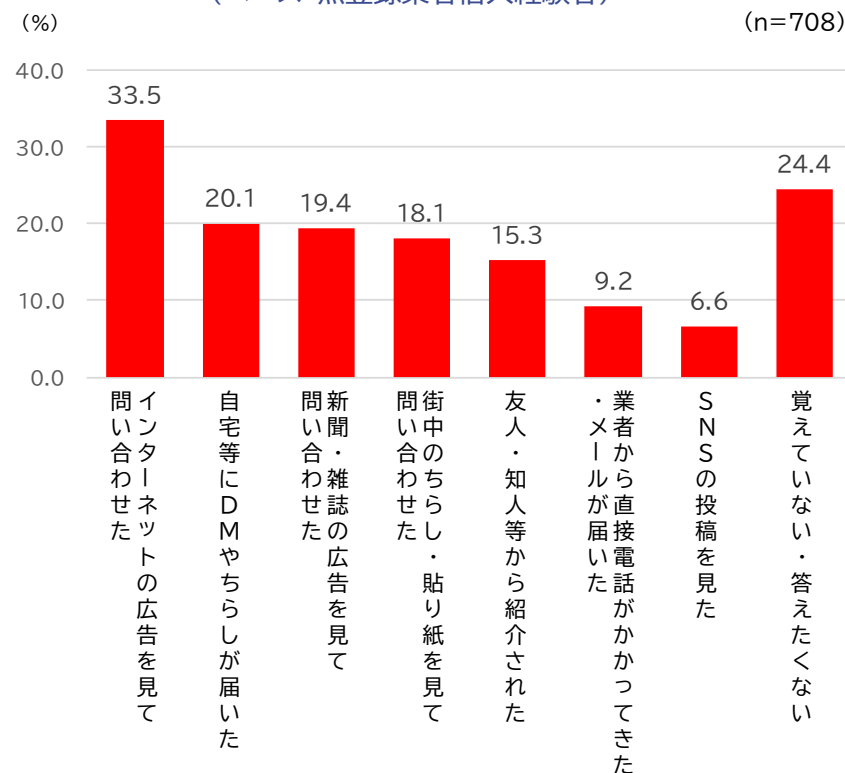
Q29.あなたが、正規の金融機関(銀行、貸金業者(クレジットカード会社、消費者金融、商工ローン)等)ではなく、無登録業者(ヤミ金融※)から借入れを行った理由として、当てはまるものを全てお答えください。(いくつでも)
Q30.あなたが最初に無登録業者(ヤミ金融※)から借入れを行った際に、その業者と接触したきっかけをお答えください。(いくつでも)

無登録業者(ヤミ金融)の利用理由
(ベース:無登録業者借入経験者)



※降順で並び替え

無登録業者(ヤミ金融)の接触契機
(ベース:無登録業者借入経験者)



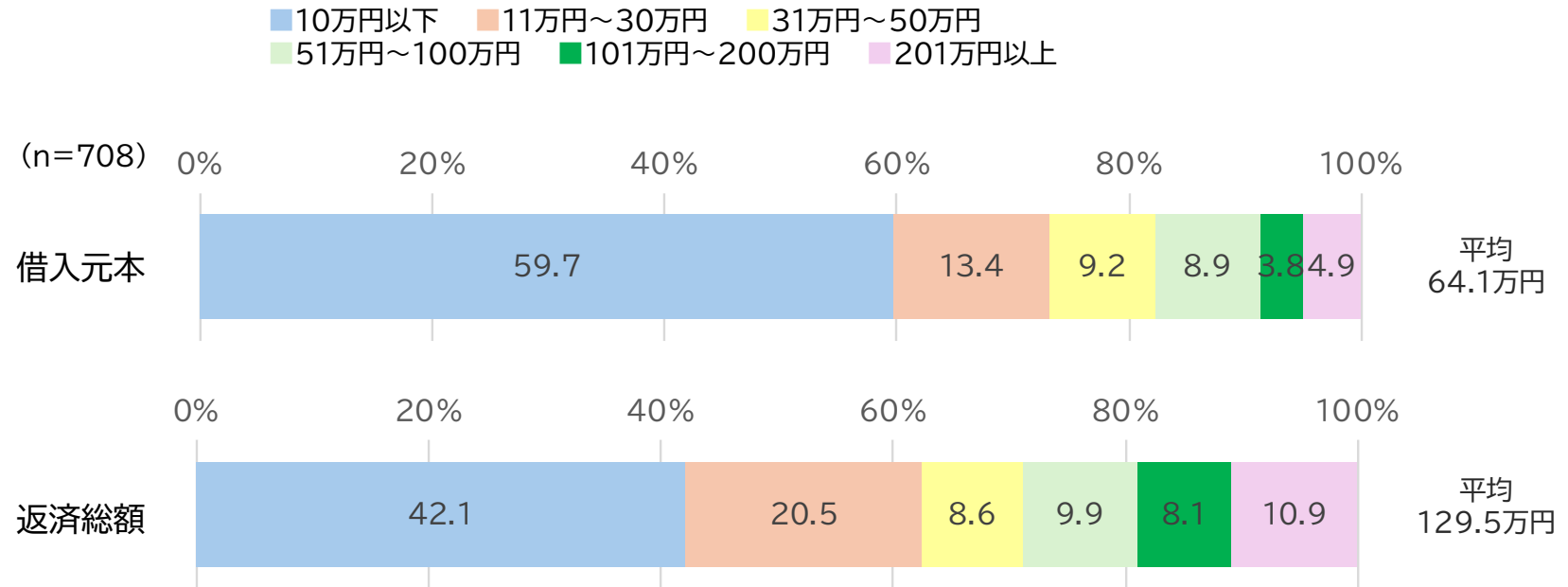
※降順で並び替え

借入元本と返済総額

- 無登録業者(ヤミ金融)利用経験者の借入元本は、「10万円以下」が59.7%となっている。
- 無登録業者(ヤミ金融)利用経験者の返済総額は、「10万円以下」が42.1%、「11万円～30万円」が20.5%となっている。

Q31.あなたが一番最近、無登録業者(ヤミ金融※)から借入れを行った際の借入元本、借入期間、借入金利、返済総額をお答えください。

無登録業者(ヤミ金融)からの借入れ時の借入元本および返済総額(元本+利息)
(ベース:3年以内の無登録業者からの借入経験者)



V. 事業資金の借入状況

事業者：経営者・役員、個人事業主

- 事業資金の借入経験と借入先
- 金融機関等別の借入目的
- 借入検討時の優先事項

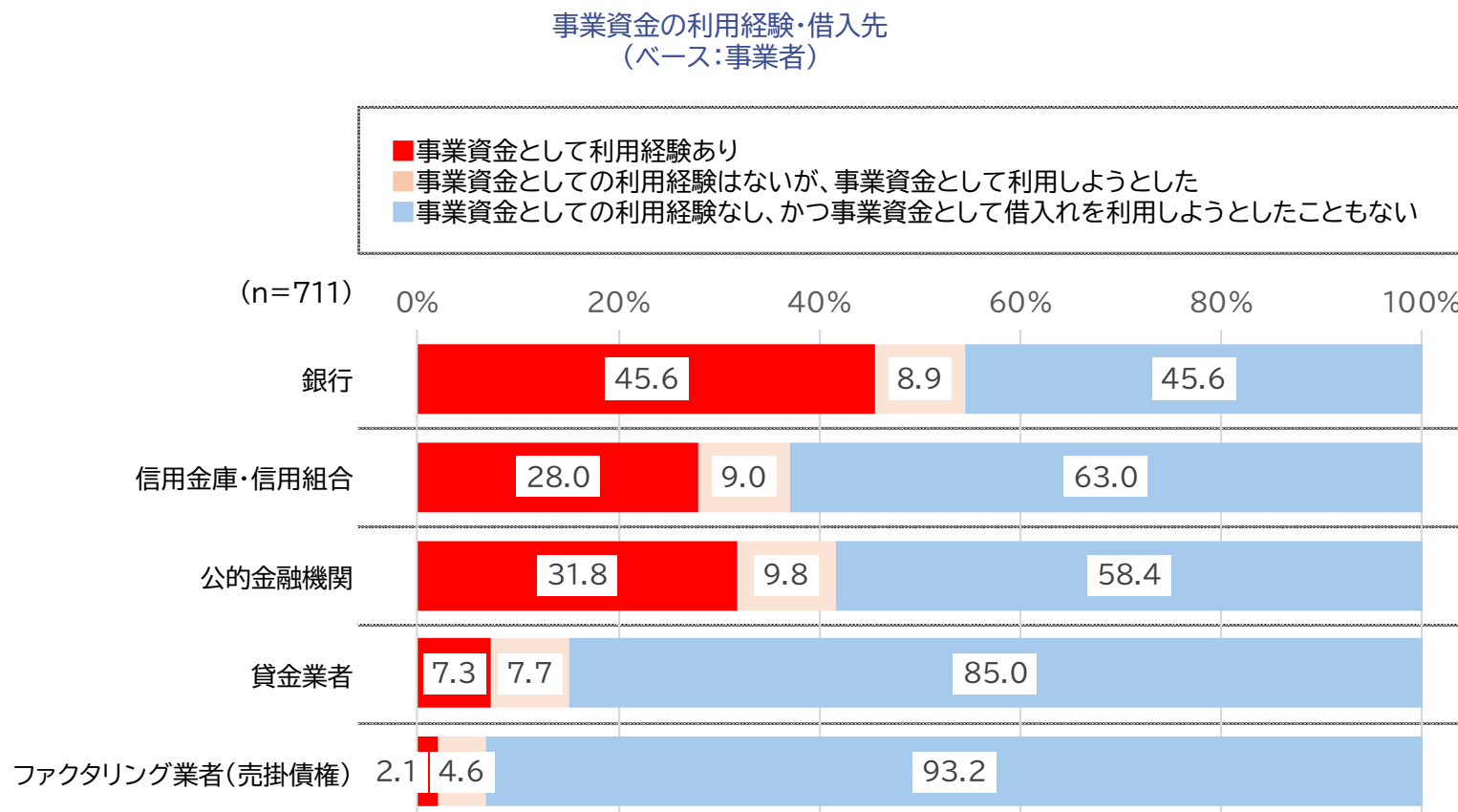
事業資金の利用経験と借入先

事業者：経営者・役員、個人事業主

- 事業者における事業資金の借入先の上位3位は、「銀行」が45.6%、「公的金融機関」が31.8%、「信用金庫・信用組合」が28.0%の順。
- 「貸金業者」を事業資金として利用経験のある事業者は7.3%、「ファクタリング業者」は2.1%となっている。

YQ5.〔経営者・役員、個人事業主のみ〕

あなたは、以下の1～4からの借入れ、又は5の利用による事業資金の調達を行った経験はありますか。それぞれあてあまるものをお答えください。（それぞれひとつずつ）



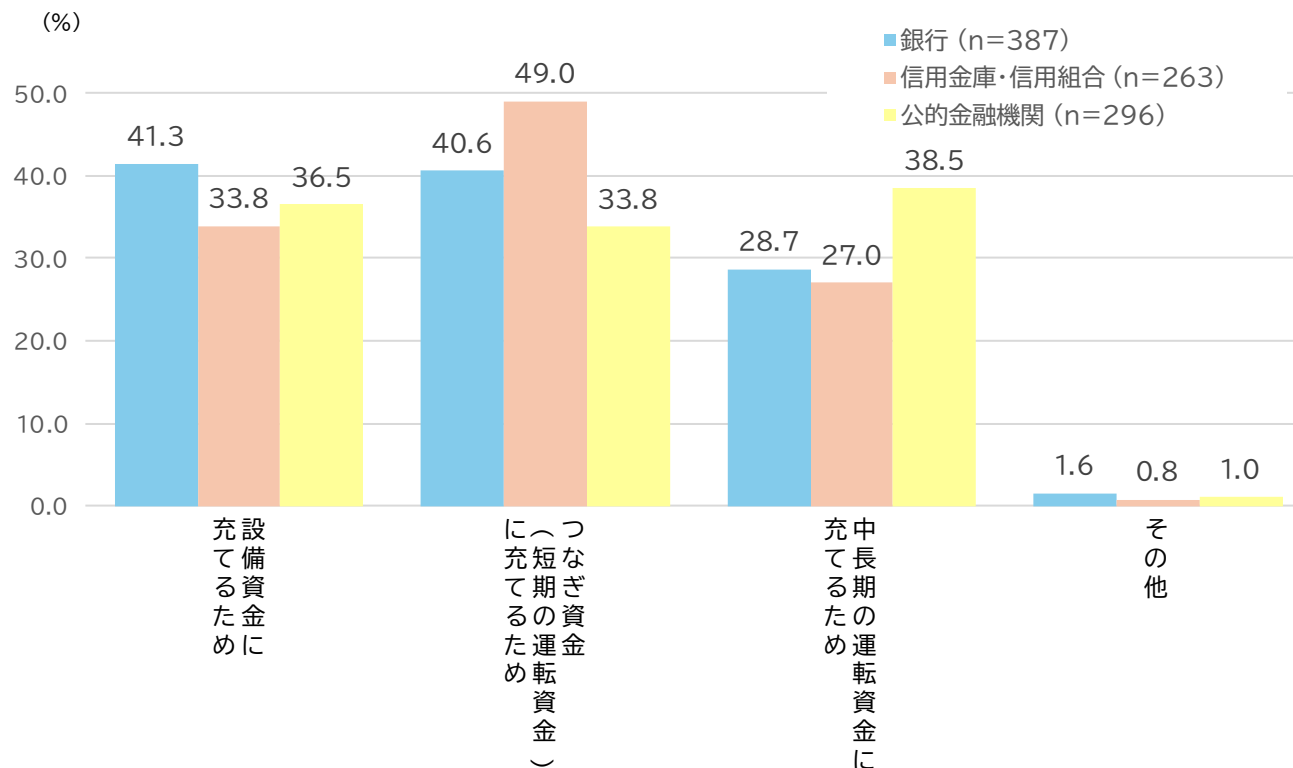
金融機関等別の借入目的

事業者：経営者・役員、個人事業主

- 事業資金の借入目的について、借入先別に見ると、「銀行」は、「設備資金に充てるため」、「つなぎ資金(短期の運転資金)」に充てるため」がそれぞれ4割。「信用金庫・信用組合」は、「つなぎ資金(短期の運転資金)」に充てるため」が5割と最も高い。

Q19.あなたが以下の金融機関より事業資金を借り入れた(利用しようとした)際の借入目的について、それぞれ1～4からお答えください。(それぞれいくつでも)

事業資金の金融機関等別の借入目的
(ベース：事業資金の借入経験・意向のある事業者)



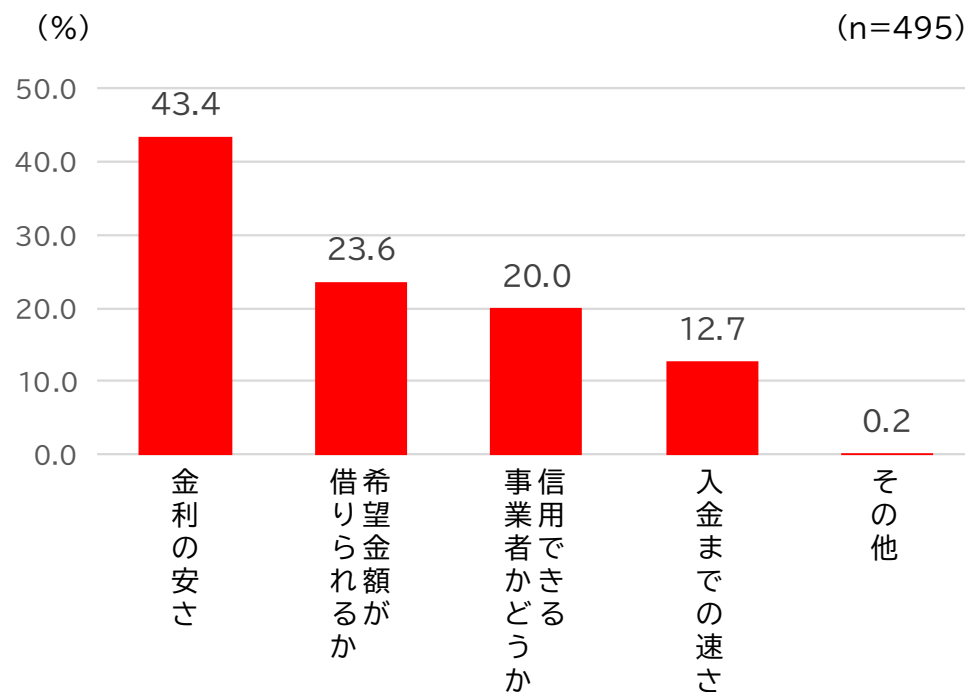
借入検討時の優先事項

事業者：経営者・役員、個人事業主

- 事業資金として金融機関等を利用したことのある／利用意向がある事業主は、事業資金借入れ検討時の優先事項では、「金利の安さ」が43.4%で回答割合が最も高い。次いで、「希望金額が借りられるか」が23.6%、「信用できる事業者かどうか」が20.0%、「入金までの速さ」が12.7%と続く。

Q20.あなたが借入れを検討する際に、最も優先する事項をお答えください。(ひとつだけ)

事業資金借入れ検討時の優先事項
(ベース：事業資金の借入経験・意向のある事業者)



VI. キャッシュレス決済のための借入状況

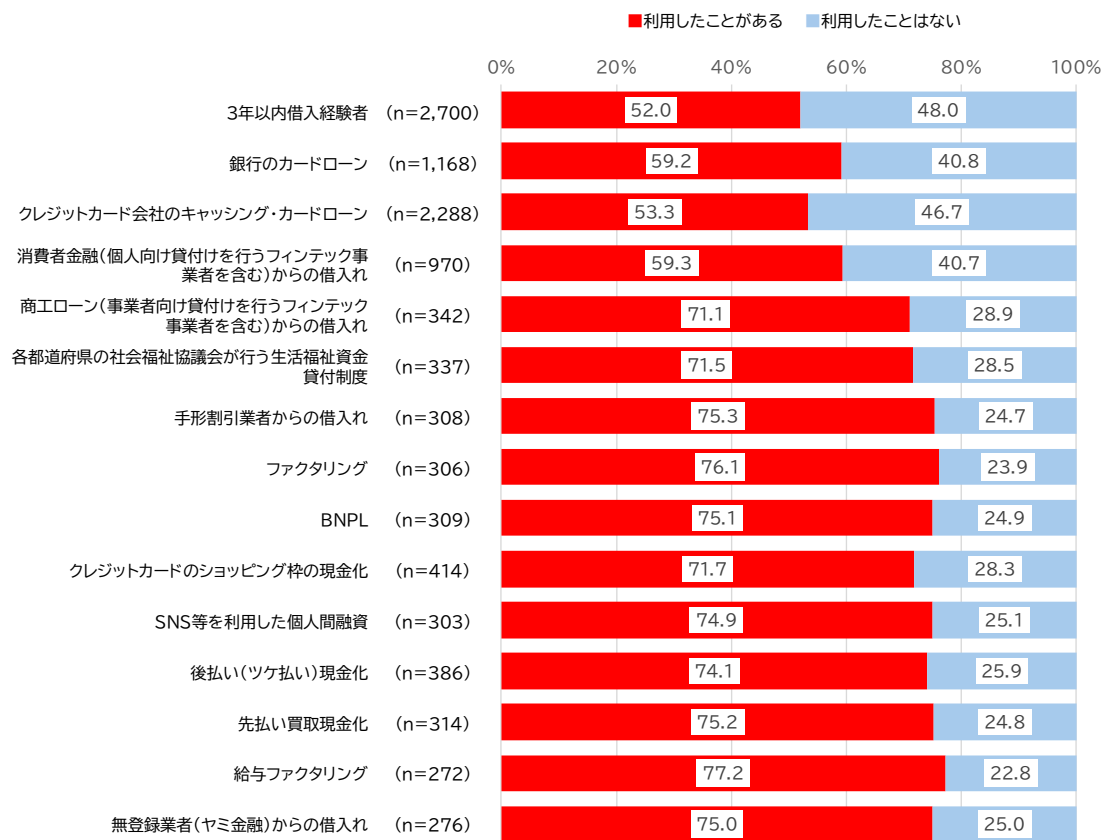
- 借入れ・資金調達等のサービス利用状況
- 借入金額と借入残高

借入れ・資金調達等のサービス利用状況

- キャッシュレス決済の支払いのために、借入れ・資金調達等のサービスを利用したことがある人は、3年以内借入経験者全体で52.0%と半数以上に上る。
- 借入残高別では、借入残高が年収の1/3を超える者では、58.4%と最も高い。

Q21. あなたは、最近3年以内にキャッシュレス決済の支払いのために借入れ・資金調達等を利用したことがあるかお答えください。(ひとつだけ)

キャッシュレス決済の支払いのために借入れ・資金調達等のサービスを利用したことの有無 (ベース:3年以内借入経験者)

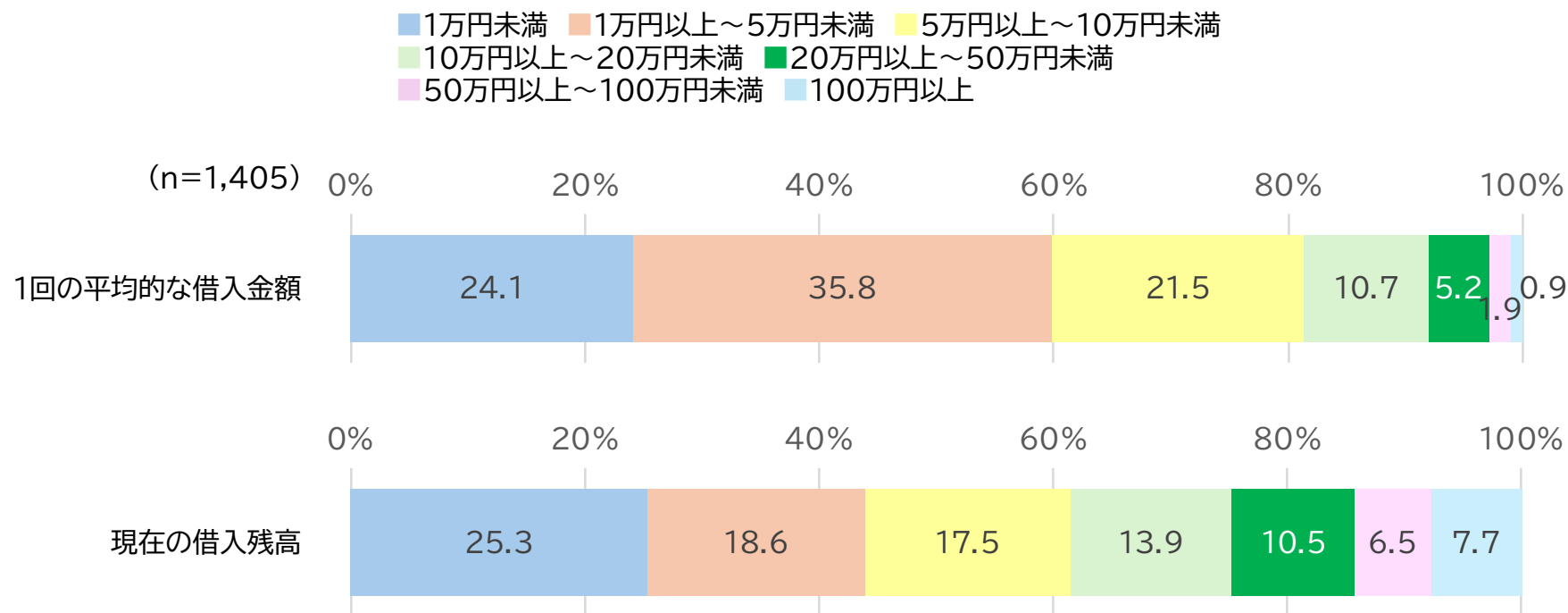


借入金額と借入残高

- キャッシュレス決済の支払いのために借入れ・資金調達等のサービスを利用した人に対し、1回の平均的な借入金額を質問したところ「1万円以上～5万円未満」と回答した者の割合が35.8%で最も高い。
- 現在の借入残高は、「1万円未満」が25.3%と最も高く、「1万円以上～5万円未満」、「5万円以上10万円未満」がそれぞれ2割弱と続く。

Q22.あなたが最近3年以内にキャッシュレス決済の支払いのために借入れ・資金調達等のサービスを利用した際の、1回の平均的な借入金額(利用金額)と現在の借入残高をお答えください。(それぞれひとつずつ)

1回の平均的な借入金額 および現在の借入残高
(ベース:3年以内借入経験者のうち、キャッシュレス決済のための借入経験者)



VII. ギャンブル等を目的とした借入状況

- 借入経験者の割合と借入残高
- 相談経験の有無と相談先等

『ギャンブル等を目的とした借入経験者』

最近3年以内に、「銀行のカードローン」「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」「消費者金融からの借入れ（個人向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む）」「商工ローン（事業者向け貸付けを行うフィンテック事業者を含む）」「各都道府県の社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付制度」「手形割引業者」「SNS 等を利用した個人間融資」「クレジットカードのショッピング枠の現金化」「後払い（ツケ払い）現金化」「先払い買取現金化」「ファクタリング（給料債権）」「無登録業者（ヤミ金融）からの借入れ」「ファクタリング（売掛債権）」のいずれかで「ギャンブル等の元手が足りなかったため」を目的とした借入経験がある方。

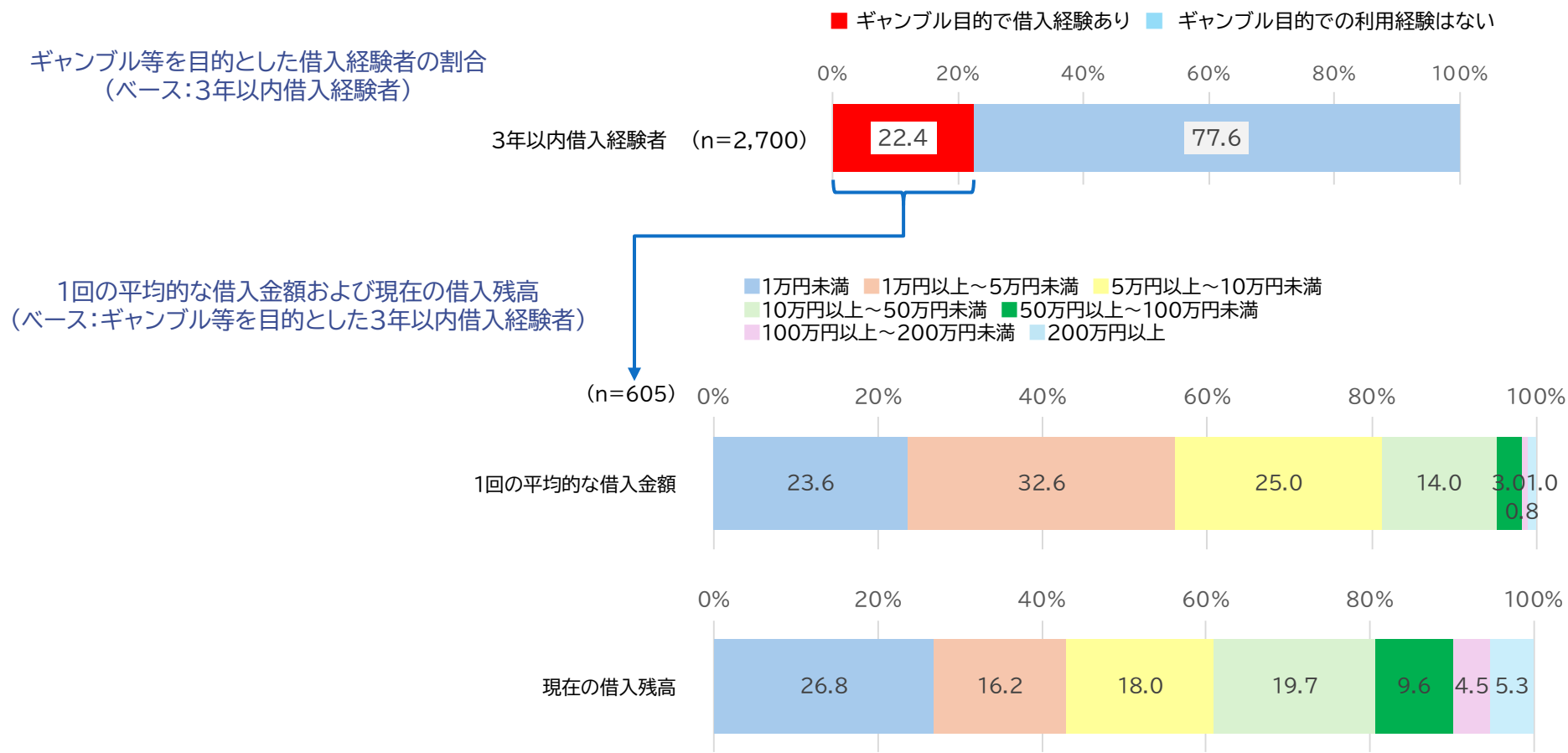
借入経験者の割合と借入残高

- 3年以内借入経験者のうち、「ギャンブルを目的とした借入経験あり」の割合は22.4%。
- ギャンブル等を目的とした借入れについて、1回の平均的な借入金額は「1万円以上～5万円未満」が32.6%と最も高い。次いで、「5万円以上～10万円未満」が25.0%で続く。
- 同借入れにおける、現在の借入残高は「1万円未満」が26.8%で最も高く、次いで「10万円以上～50万円未満」が19.7%となっている。

Q1.あなたが最近3年以内に借入れ・資金調達等を行った以下のサービスについて、契約目的として当てはまるものを、それぞれ1～12からお答えください。(それぞれいくつでも)

10.ギャンブル等の元手が足りなかったため

Q32.あなたが最近3年以内にギャンブル等※や遊びのために借入れした際の、1回の平均的な借入金額(利用金額)、現在の借入残高を以下の中からそれぞれお答えください。(それぞれひとつずつ)



相談経験の有無と相談先等

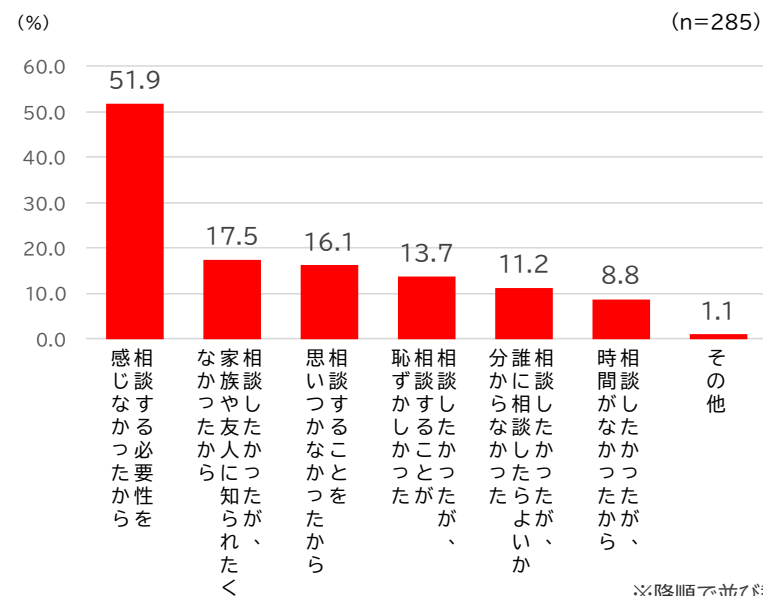
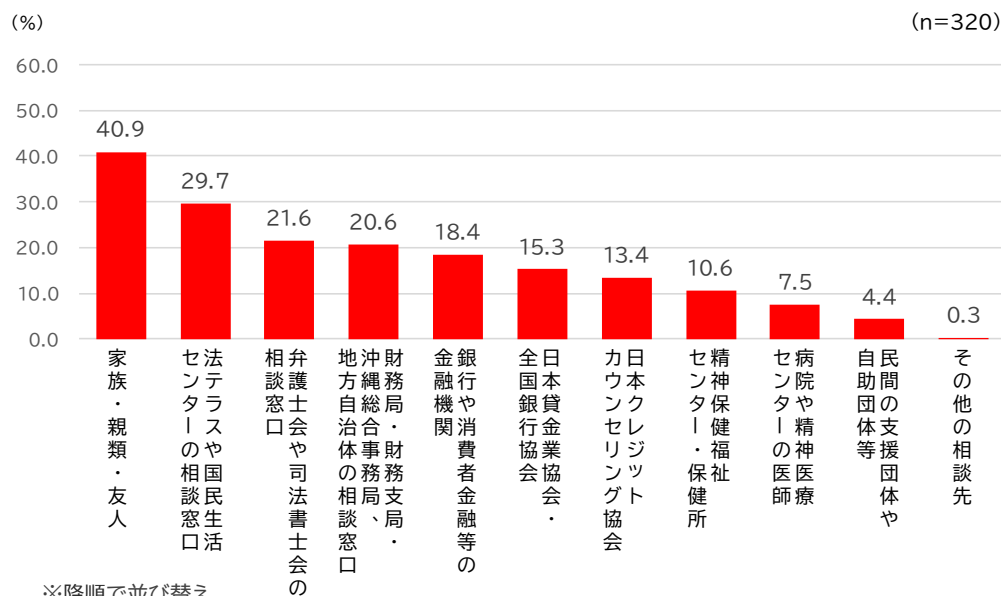
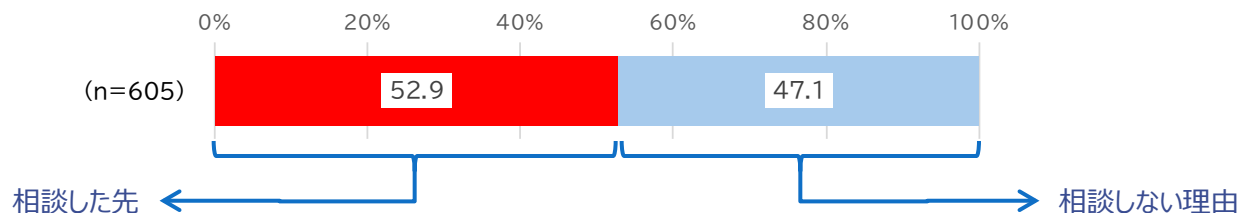
- ギャンブル等や遊びのための借入れや、ギャンブル等にのめりこんでしまうことについての相談経験者は、ギャンブル等を目的とした借入経験者の 52.9%。
- 相談した先としては「家族・親類・友人」が最も高く、40.9%。
- 相談しない理由としては「相談する必要性を感じなかったから」が最も高く、51.9%となっている。

Q33. あなたの、ギャンブル等や遊びのための借入れや、ギャンブル等にのめりこんでしまうことについての相談先をお答えください。(いくつでも)

Q34. あなたが相談しなかった理由をお答えください。(いくつでも)

相談経験の有無(ベース:ギャンブル等を目的とした借入経験者)

■ 相談したことがある ■ 相談したことはない



VIII. セーフティネットの状況

- セーフティネットの認知率
- 相談窓口の認知経路
- 相談先と相談しなかった理由
- 相談先の満足度

セーフティネットの認知率

- 3年以内借入経験者におけるセーフティネットの認知は、「法テラス、国民生活センターの相談窓口」が61.0%で最も高く、「弁護士会、司法書士会の相談窓口」が58.6%の僅差で続く。
- なお、「財務局や地方自治体が設置している多重債務専門の相談窓口」に対する、全体の認知率は19.9%である。
- 借入残高が年収の1/3を超える者の認知も「法テラス、国民生活センターの相談窓口」が68.4%で最も高く、「弁護士会、司法書士会の相談窓口」が上位2位。また詳細認知は、「弁護士会、司法書士会の相談窓口」が23.7%で最も高い。

Q12. 多重債務者など、金銭面で生活が苦しい状況に陥っている方を救済することを目的とした制度として、セーフティネット制度があります。あなたは(1)～(6)の機関や相談窓口が、セーフティネットとして、多重債務に関する相談や、生活に困った人に対する貸付け等を行っていることを知っているか、それぞれについて、お答えください。(それぞれひとつずつ)

※全体のみウエイトバックあり。ウエイトバック集計による重みづけ後のサンプル数を表記。

セーフティネット 認知/詳細認知状況（ベース:全数）

		回答数 (n=)	財務局や地方自治体が 設置している多重債務 専門の相談窓口		法テラス、国民生活 センターの相談窓口		弁護士会、司法書士会 の相談窓口		生活協同組合や労働金庫 ・信用組合で行っている 貸付制度		各都道府県の社会福祉 協議会が行なう生 活福祉資金貸付制度		日本貸金業協会・ 全国銀行協会による 貸付自粛制度		(%)
			認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	
全体		5,000	19.9	3.2	37.4	6.7	37.7	6.2	18.6	3.3	17.5	3.4	12.8	2.3	
3年以内借入経験者		2,700	46.3	16.3	61.0	17.9	58.6	17.3	40.7	11.6	42.7	12.9	37.5	12.0	
借入 残高	借入残高が年収の1/3を超える者	380	54.2	23.2	68.4	22.6	62.6	23.7	47.6	14.7	53.7	15.3	44.7	15.3	
	借入残高が年収の1/3以下の者	1,685	49.4	17.2	63.7	18.3	61.5	17.8	42.8	12.2	44.6	13.7	39.8	12.5	
	借入残高なし	469	32.4	9.0	49.5	14.3	49.3	13.0	30.9	8.1	28.6	8.5	25.8	7.5	
	不明	166	36.1	12.0	48.8	12.0	46.4	10.2	30.7	7.2	38.0	10.8	30.7	12.7	
3年以内借入経験者以外		2,300	18.1	2.3	35.9	6.0	36.3	5.4	17.1	2.7	15.8	2.8	11.2	1.7	
過去 経験	3年以前借入経験あり	324	29.0	3.7	55.2	13.0	54.6	10.5	30.9	5.2	30.2	5.6	22.8	2.8	
	借入経験なし	1,976	16.3	2.1	32.7	4.9	33.4	4.6	14.9	2.3	13.5	2.3	9.3	1.5	

※「認知計」＝「詳細な内容まで知っていた」＋「聞いたことはあるが詳細な内容までは知らなかった」

※ は各層で、「認知計」「詳細認知」が最も高い機関・相談窓口

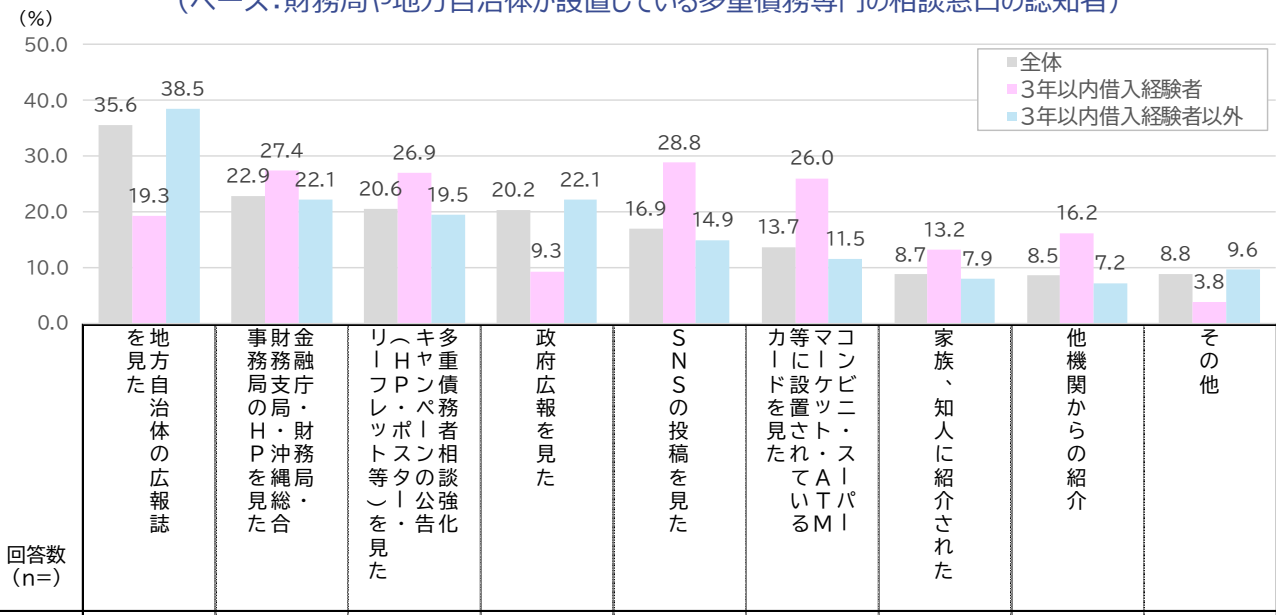
相談窓口の認知経路

- 「財務局や地方自治体が設置している多重債務専門の相談窓口」の認知経路は、全体では「地方自治体の広報誌を見た」が35.6%で最も高い。
- 【3年以内借入経験者】では、全体に比べ「SNSの投稿を見た」、「コンビニ・スーパーマーケット・ATM等に設置されているカードを見た」が特に高い。

Q13. 財務局や地方自治体が設置している多重債務専門の相談窓口について「知っていた」、「聞いたことはある」とお答えいただいた方にお伺いします。
あなたが相談窓口について知った経緯をお答えください。(いくつでも)

※全体のみウエイトバックあり。
ウエイトバック集計による重みづけ後のサンプル数を表記。

財務局や地方自治体が設置している多重債務専門の相談窓口の認知経路
(ベース:財務局や地方自治体が設置している多重債務専門の相談窓口の認知者)



全体		993	35.6	22.9	20.6	20.2	16.9	13.7	8.7	8.5	8.8
3年以内借入経験者		1,250	19.3	27.4	26.9	9.3	28.8	26.0	13.2	16.2	3.8
借入残高	借入残高が年収の1/3を超える者	206	11.2	25.2	30.6	6.3	31.1	28.2	16.0	17.5	2.4
	借入残高が年収の1/3以下の者	832	20.7	30.3	26.4	8.2	29.4	27.9	13.7	17.3	3.8
	借入残高なし	152	23.0	19.7	27.0	16.4	23.7	14.5	7.9	9.9	5.9
	不明	60	18.3	13.3	20.0	16.7	25.0	21.7	10.0	11.7	1.7
3年以内借入経験者以外		416	38.5	22.1	19.5	22.1	14.9	11.5	7.9	7.2	9.6
過去経験	3年以前借入経験あり	94	36.2	22.3	21.3	23.4	20.2	8.5	9.6	14.9	7.4
	借入経験なし	322	39.1	22.0	18.9	21.7	13.4	12.4	7.5	5.0	10.2

<全体との差>

- +10pt以上
- +5pt以上
- -5pt以上
- -10pt以上

<並び順>

全体%を基準に降順で並び替え

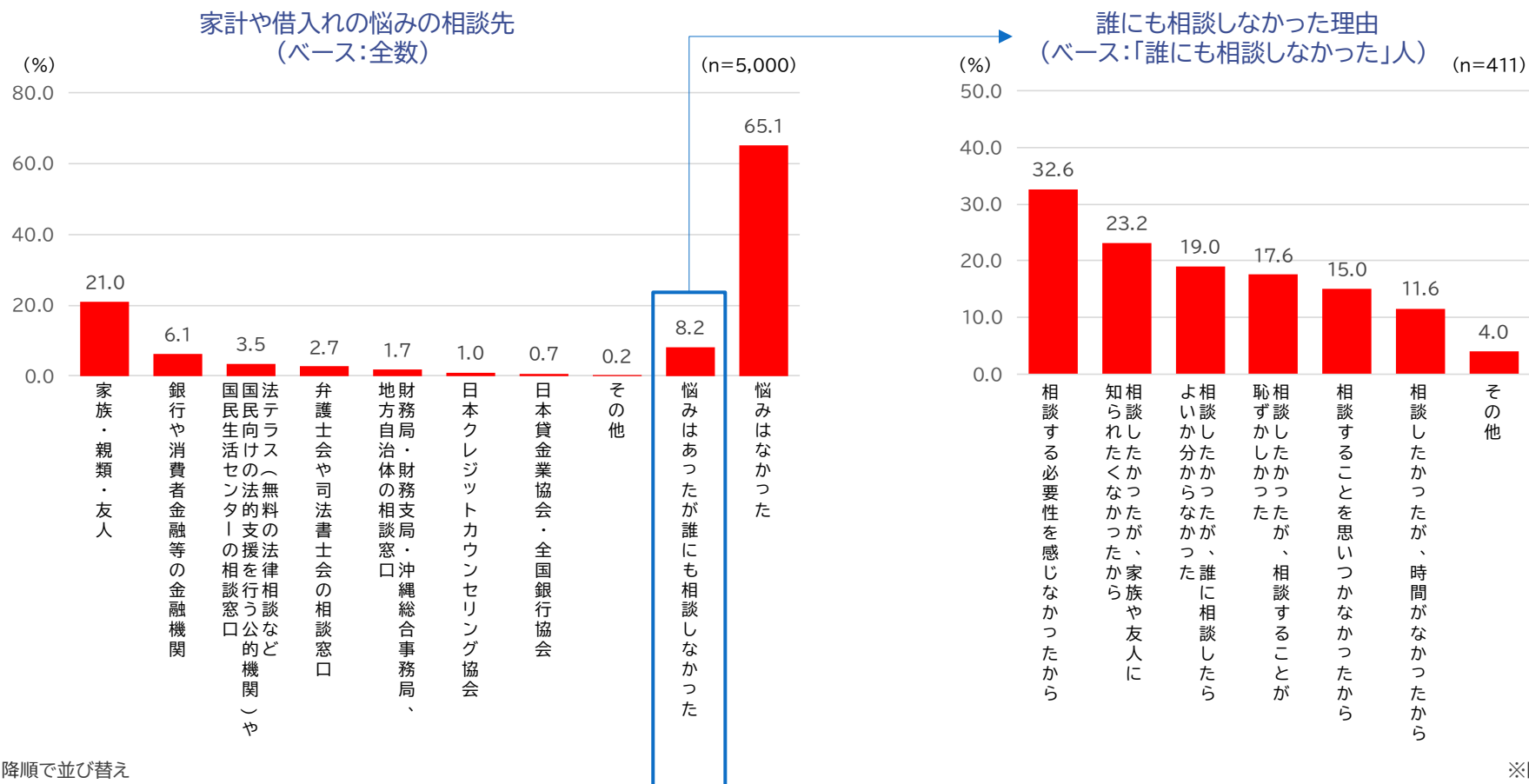
相談先と相談しなかった理由

- 家計や借入れの悩みの相談先は、「家族・親類・友人」が最も高く、全体で21.0%となっている。
- 「悩みはあったが誰にも相談しなかった」人は、全体で8.2%。その理由は「相談する必要性を感じなかったから」が32.6%で最も高い。

Q14. あなたの、家計や借入れに関しての悩みの相談先をお答えください。(最大5つまで)

Q16. Q14で「悩みはあったが誰にも相談しなかった」と答えた方にお伺いします。あなたが相談しなかった理由をお答えください。(いくつでも)

※ウエイトバックあり。ウエイトバック集計による重みづけ後のサンプル数を表記。

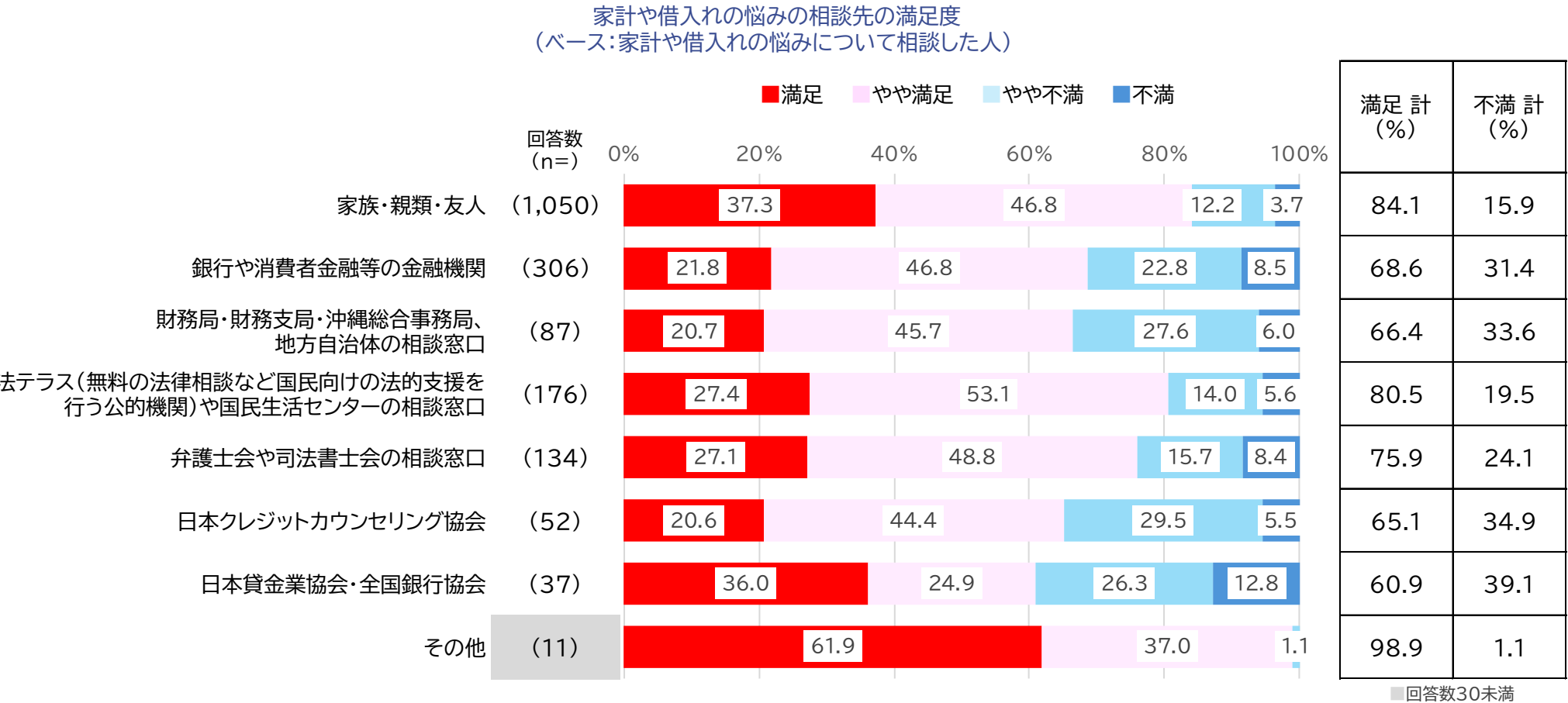


相談先の満足度

- 家計や借入れの悩みの相談先の満足度について、「満足計」では「家族・親類・友人」が84.1%で最も高い。(回答数30以上)

Q15. 前問で選択した「家計や借入れに関する悩みの相談先」について、相談した際の満足度をそれぞれ1～4からお答えください。(それぞれひとつずつ)

※ウェイトバックあり。ウェイトバック集計による重みづけ後のサンプル数を表記。



IX. 貸付自粛制度の状況

- 認知度と認知経路
- 利用経験と撤回経験
- 利用経験の有無とその理由

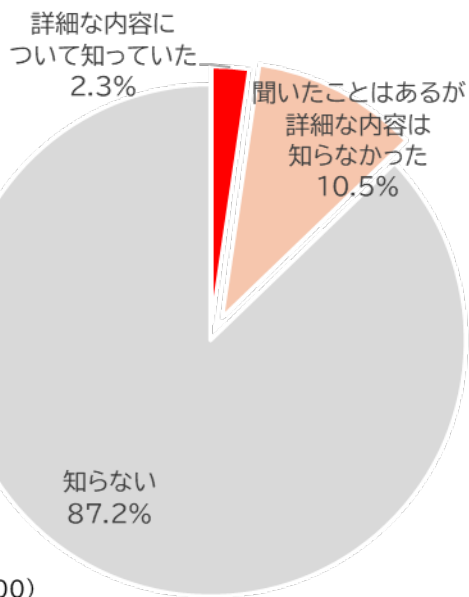
認知度と認知経路

- 貸付自粛制度の認知率(「詳細な内容について知っていた」+「聞いたことはあるが詳細な内容は知らなかった」計)は全体で12.8%。
- 本制度の認知経路は<人・公的機関からの紹介>では「家族・親類・友人」が25.0%で最も高く、次いで「銀行や消費者金融等の金融機関」が23.8%で続く。<自分で調べた・掲示物を見た>では、「市区町村」を通じての認知が18.0%で最も高い。

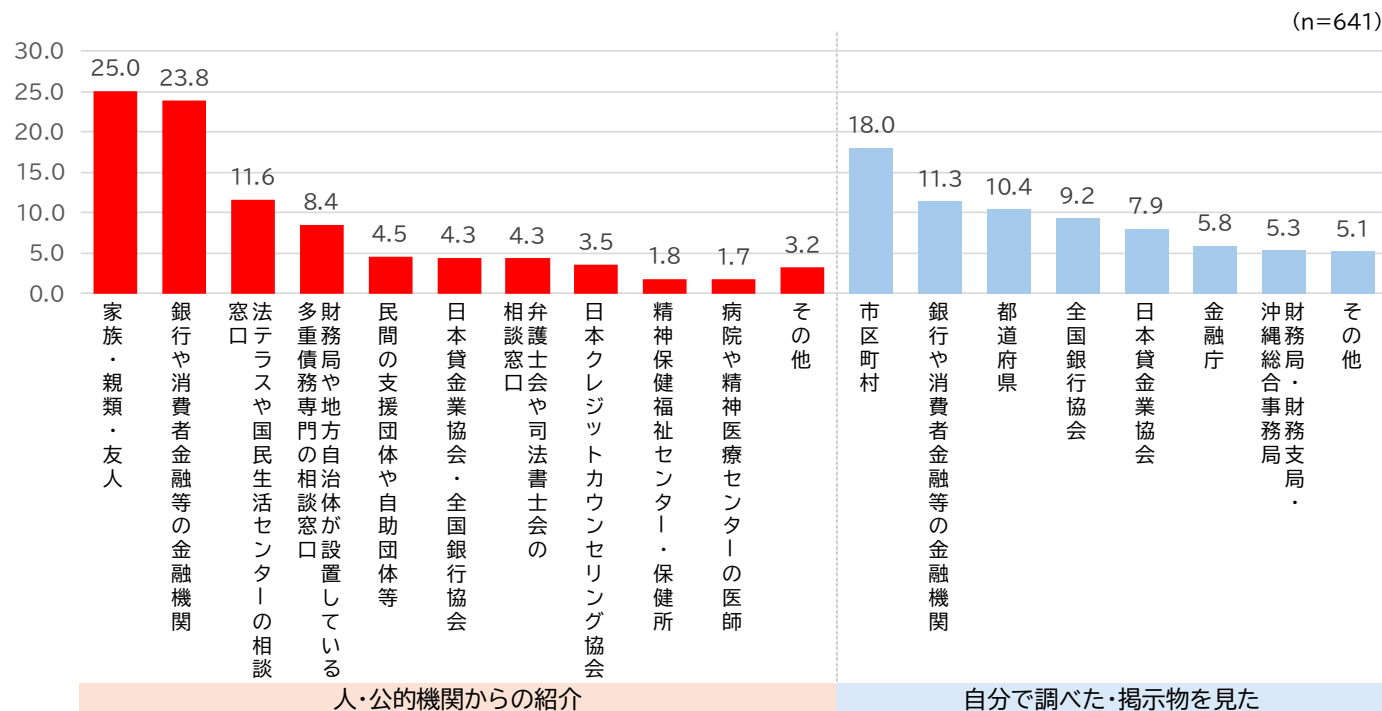
Q12-6.あなたは(1)～(6)の機関や相談窓口が、セーフティネットとして、多重債務に関する相談や、生活に困った人に対する貸付け等を行っていることを知っているか、それぞれについて、お答えください。／貸付自粛制度(それぞれひとつずつ)
Q35.貸付自粛制度を知っている方にお伺いします。あなたが、貸付自粛制度を知った経緯をお答えください。(いくつでも)

※ウエイトバックあり。ウエイトバック集計による重みづけ後のサンプル数を表記。

貸付自粛制度の認知(一部再掲)
(ベース:全数)



貸付自粛制度の認知経路 (ベース:貸付自粛制度の認知者)



※降順で並び替え

利用経験と撤回経験

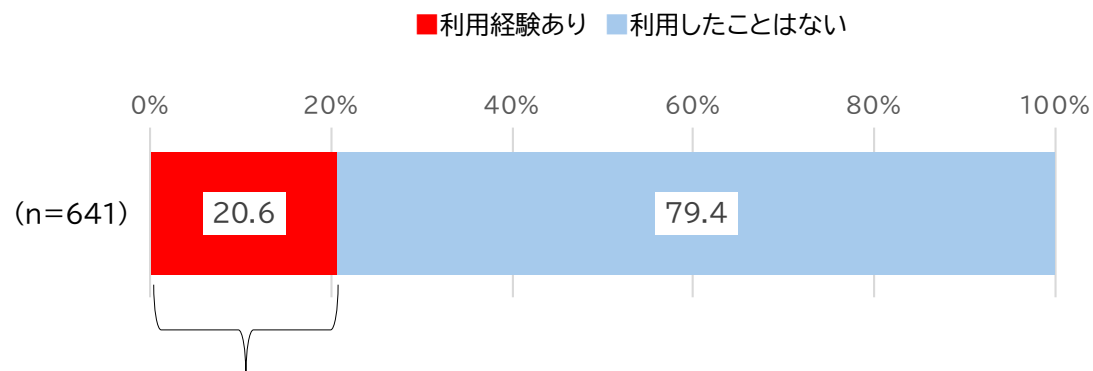
- 貸付自粛制度の認知者中で、同制度の利用経験者は20.6%となっている。
- 同制度の利用者において、撤回経験については、「撤回したことはない」が42.0%と最も高く、「撤回したことはあるが、撤回後に借入れは行っていない」が34.8%となっている。

Q36. あなたが貸付自粛制度(*)を利用したことがあるかお答えください。(いくつでも)

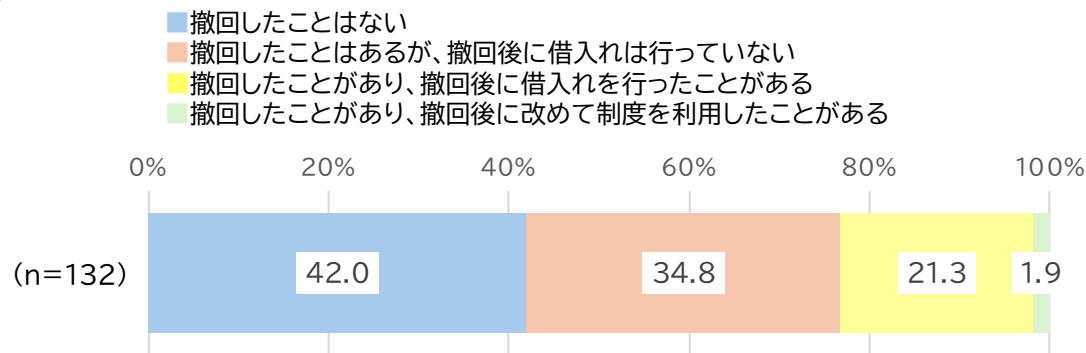
Q37. あなたが貸付自粛制度を撤回したことがあるかお答えください。(ひとつだけ)

※ウエイトバックあり。ウエイトバック集計による重みづけ後のサンプル数を表記。

貸付自粛制度の利用経験
(ベース: 貸付自粛制度の認知者)



撤回の経験
(ベース: 貸付自粛制度利用経験者)

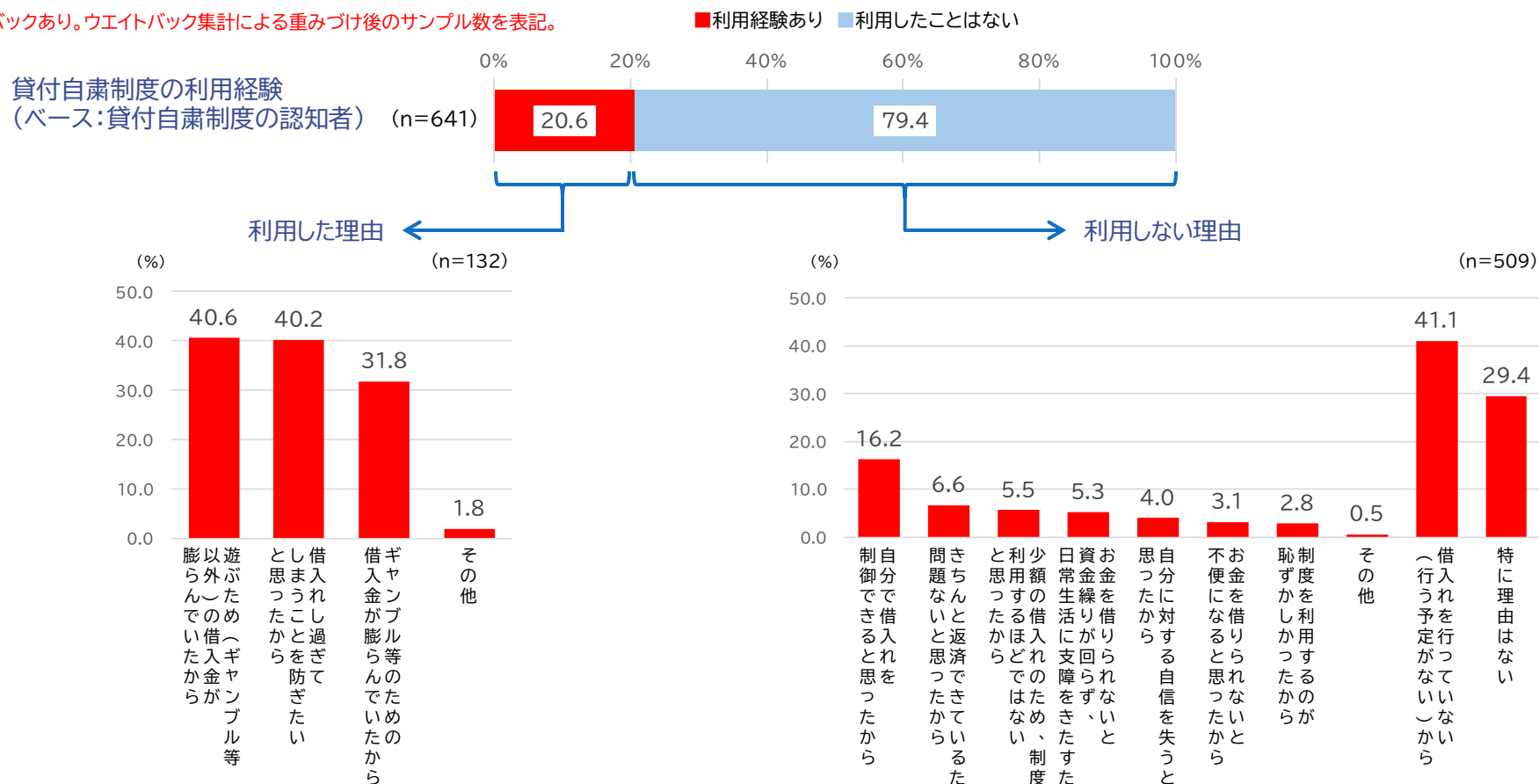


利用の有無とその理由

- 貸付自粛制度の利用理由は、「遊ぶため(ギャンブル等以外)の借入金が膨らんでいたから」が40.6%と最も高く、「借入れし過ぎてしまうことを防ぎたいと思ったから」が40.2%で続く。
- 対して、同制度の非利用者において、利用しない理由は「自分で借入れを制御できると思ったから」が16.2%で最も高い。

Q36. あなたが貸付自粛制度(※)を利用したことがあるかお答えください。(いくつでも)
Q38. あなたが貸付自粛制度を利用しない理由をお答えください。(いくつでも)

※ウエイトバックあり。ウエイトバック集計による重みづけ後のサンプル数を表記。



※降順で並び替え

※降順で並び替え

調査のお問い合わせ



株式会社MSS MR事業部
東京都港区虎ノ門4丁目1-40 江戸見坂森ビル
<https://mssinc.jp/>